

# 平成29年7月九州北部豪雨について

平成29年9月5日

国土交通省 水管理・国土保全局

# 平成29年7月九州北部豪雨における一般被害

8/21  
16:00時点

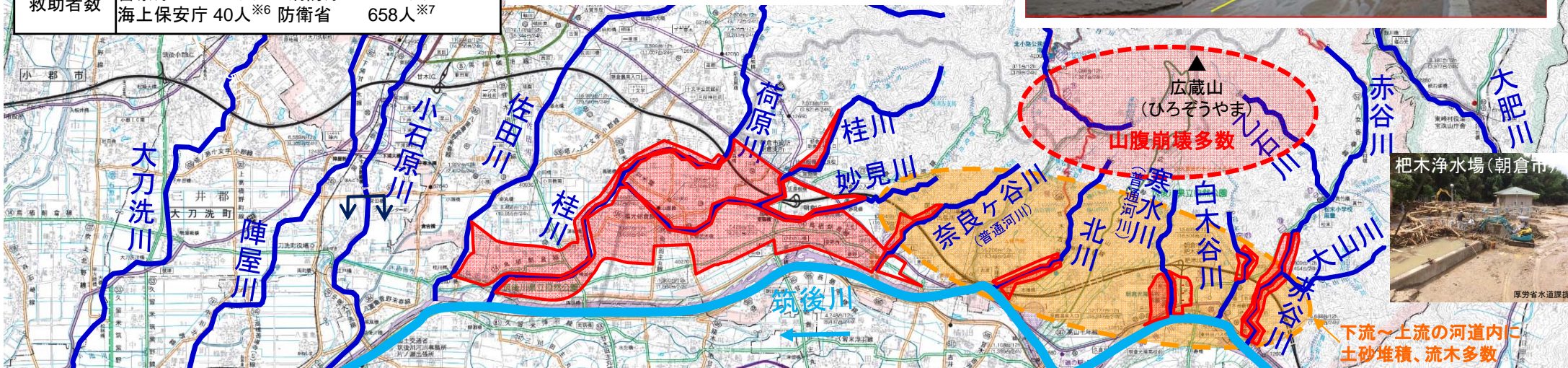
・平成29年7月5日、6日の大雨「平成29年7月九州北部豪雨」(以降、「今回の豪雨」という)により、出水や山腹崩壊が発生。**河川のはん濫、大量の土砂や流木の流出等により、死者36名、家屋の全半壊等1,417棟、家屋浸水2,169戸の甚大な被害が発生。**

・避難指示(緊急)は最大で182,425世帯・440,667人、避難勧告は最大で109,663世帯・267,309人に発令された。またJR久大線の花月川橋梁が流出するなどライフラインにも甚大な被害が発生。

項目	状況等
人的被害※1	死者36名、行方不明者5名、負傷者21名
住家被害※1	全壊276棟、半壊1,065棟、一部破損76棟、 家屋浸水2,169棟
避難指示等の状況	【最大※2】
	①避難指示(緊急) 182,425世帯、440,667人 福岡県(久留米市、朝倉市等の7市町) 熊本県(南阿蘇村)、大分県(日田市)
避難者数※1	②避難勧告 109,663世帯、267,309人 福岡県(久留米市、朝倉市、東峰村等の6市町村) 熊本県(熊本市、南阿蘇村等の12市町村) 大分県(日田市、中津市)
	福岡県(朝倉市、東峰村) 328人 大分県(日田市) 2人
救助者数	警察庁 444人※7 消防庁 283人※5 海上保安庁 40人※6 防衛省 658人※7

項目	状況等
鉄道※3	2事業者10路線で運転休止 JR九州 日田彦山線 添田～夜明、 JR九州 久大本線 善導寺～日田、 西日本鉄道 天神大牟田線 西鉄柳川～大牟田等
ライフライン※7	停電 約530戸(最大約5,800戸※4) 水道断水 断水解消(最大3,071戸)

※1 内閣府「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号による被害状況等について」(8月21日16:00現在)  
 ※2 各時点の消防庁災害対策本部報のうち、最大であった数値を記載  
 (①第6報 7/6 4:00現在発令中、②第16報 7/7 18:00現在発令中)  
 ※3 各時点の※1のうち、最大であった(7月6日9:00現在)の数値を記載  
 ※4 各時点の※1のうち、最大であった(7月6日9:00現在)の数値を記載  
 ※5 消防庁「平成29年6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号の被害状況及び消防機関等の対応状況等について」(8月2日18:30時点)  
 ※6 国土交通省「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号による被害状況等について」(8月2日10:00現在)  
 ※7 内閣府「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号による被害状況等について」(8月2日14:00現在)



	国管理河川				県管理河川				計	
	筑後川水系花月川	筑後川水系小石原川	遠賀川水系彦山川	山国川水系山国川	筑後川水系赤谷川	筑後川水系桂川	筑後川水系妙見川	その他河川		
家屋浸水(戸)※1	床上	282	5	14	18	364	15	288	981	
	床下	562	5	50	2	24	373	27	145	1,188
計		844	5	64	2	42	737	42	433	2,169



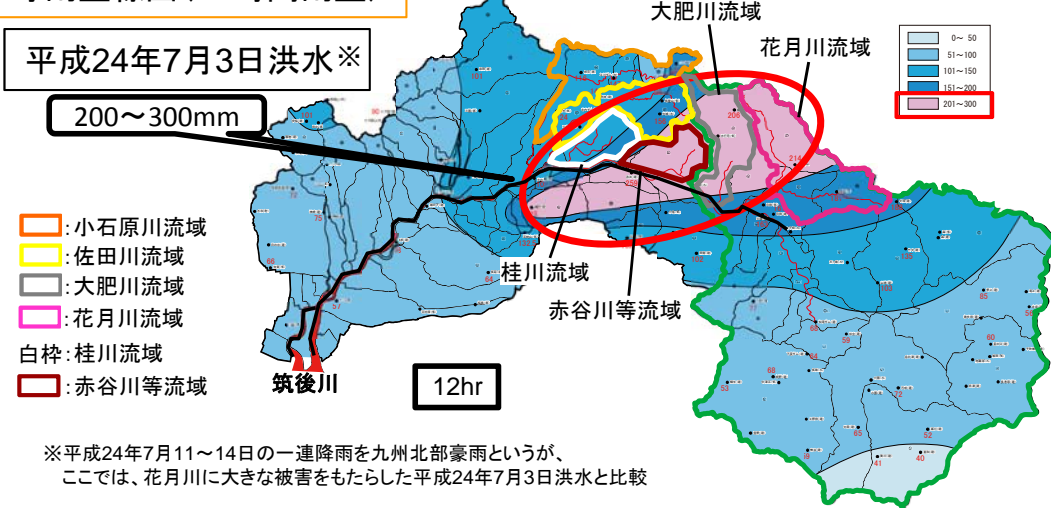
今回浸水したと想定される箇所(四国地整へり映像をもとに九州地整にて作成)

※速報値であり、今後変更等の可能性があります。

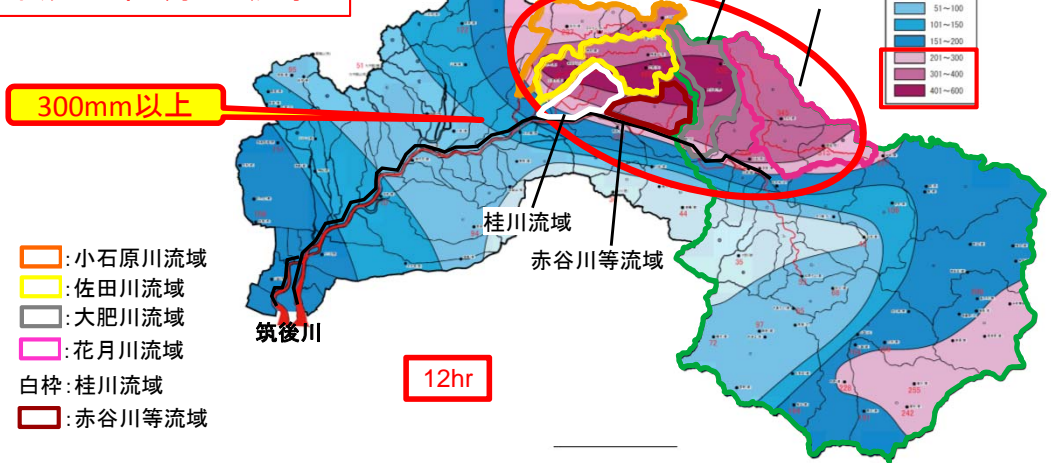
# 平成29年7月九州北部豪雨の状況(筑後川流域) —平成24年7月洪水との比較—

- ・筑後川水系花月川流域に大きな被害をもたらした平成24年7月3日洪水では、花月川流域付近を中心に、12時間雨量で200～300mm程度の大雨であったが、今回の豪雨は、筑後川中流域右岸の小石原川流域～花月川流域の範囲にわたって、12時間雨量で300mmを超える大雨となった。
- ・その結果、平成24年7月洪水では花月川流域に比べ降雨が少なかった小石原川流域及び佐田川流域付近では、平成24年7月洪水の2倍を超える雨量となった。

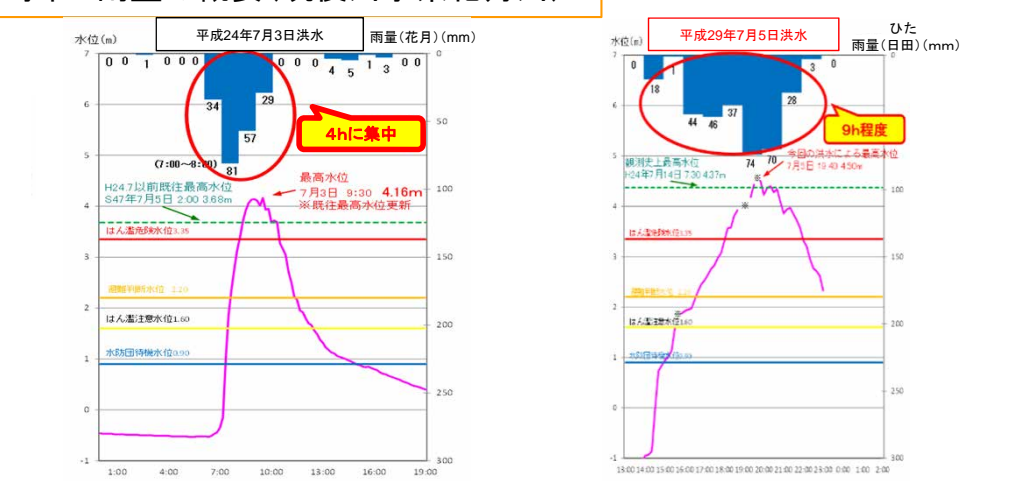
## 等雨量線図(12時間雨量)



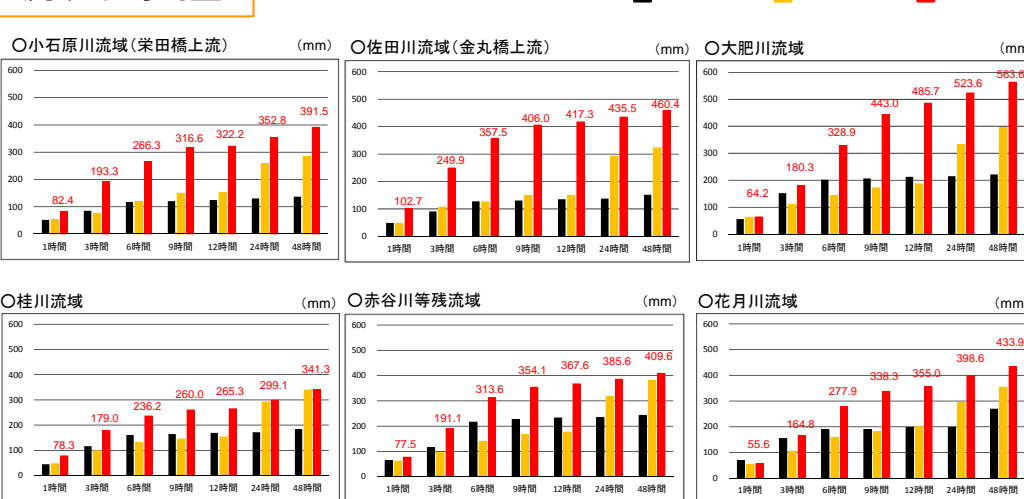
## 平成29年7月5日洪水



## 水位・雨量の概要(筑後川水系花月川)



## 流域平均雨量

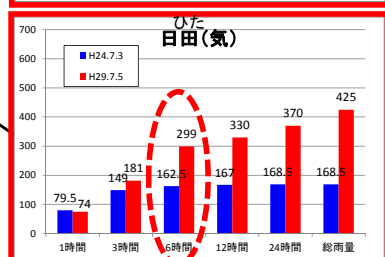
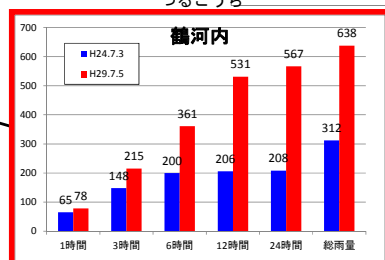
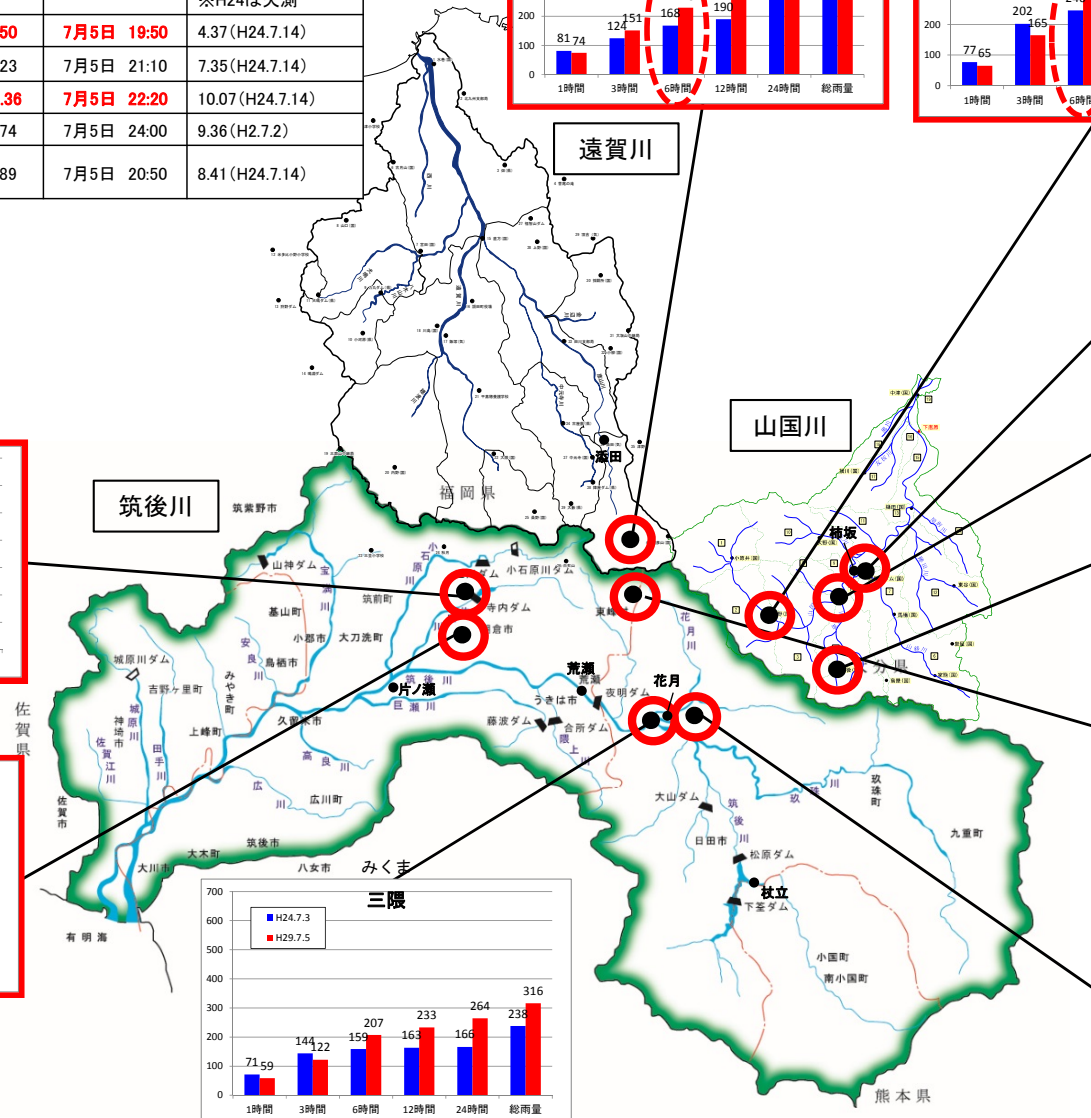
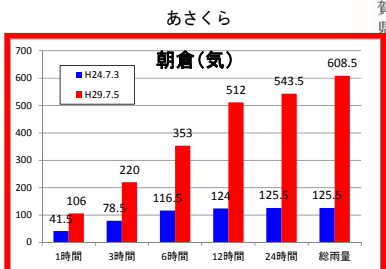
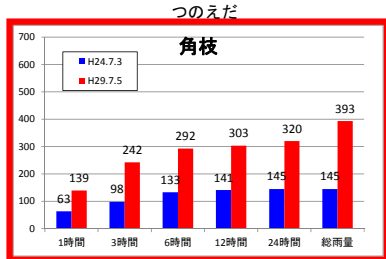
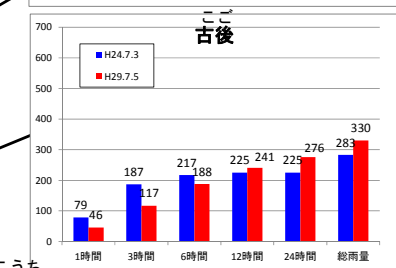
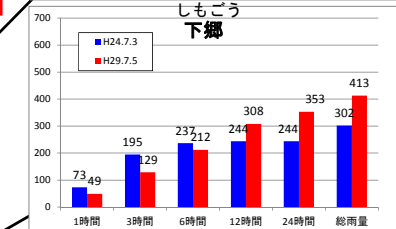
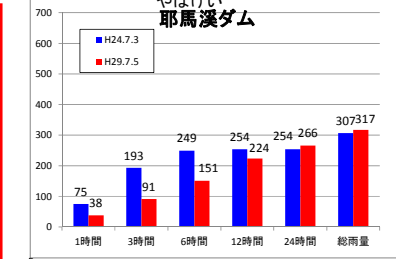
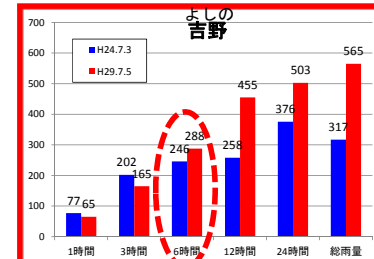
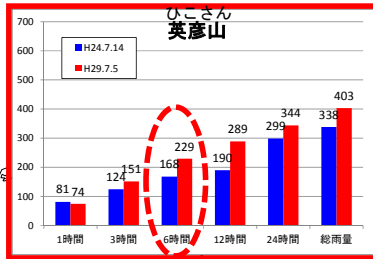


# 平成29年7月九州北部豪雨の状況－平成24年7月洪水との比較－

- 7月5日の昼頃から夜にかけて九州北部の福岡県から大分県にかけて強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量を観測し総雨量は500mmを超える大雨となった。
- 遠賀川の英彦山(ひこさん)雨量観測所において、6時間雨量が229ミリを記録し、平成24年7月14日の降雨量6時間168ミリを越える雨量を記録。
- 筑後川流域では、日田(ひた)雨量観測所(大分県日田市)において、6時間雨量が299ミリを記録し、平成24年7月3日の降雨量6時間163ミリを超える雨量を記録。
- 山国川流域では、吉野(よしの)雨量観測所において、6時間雨量が288ミリを記録し、平成24年7月3日の降雨量6時間246ミリを越える雨量を記録。
- 今回の豪雨により国管理の水位観測所6地点において氾濫危険水位を超える洪水となり、遠賀川及び筑後川の3観測所において観測史上最高水位を記録。

## 氾濫危険水位超過地点

水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)	観測史上最高水位
遠賀川	彦山川	添田(そえだ)	5.88	7月5日 17:40 3.59(H17.9.6) ※H24は欠測
筑後川	花月川	花月(かげつ)	4.50	7月5日 19:50 4.37(H24.7.14)
筑後川	筑後川	荒瀬(あらせ)	7.23	7月5日 21:10 7.35(H24.7.14)
筑後川	筑後川	片ノ瀬(かたのせ)	10.36	7月5日 22:20 10.07(H24.7.14)
筑後川	筑後川	杖立(つえだて)	6.74	7月5日 24:00 9.36(H2.7.2)
山国川	山国川	柿坂(かきさか)	6.89	7月5日 20:50 8.41(H24.7.14)



# 筑後川水系花月川の治水対策と今次出水の状況

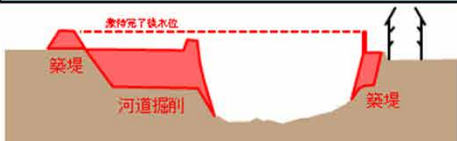
- 平成24年7月出水による被害を受けて、**平成24年7月出水と同規模の降雨があっても氾濫が生じないように、激特事業※を実施。**
- 激特事業※では、築堤(川幅を部分的に約1.5倍)、河道掘削(高水敷を約2m切り下げ)、橋梁架替、固定堰の撤去などの対策を実施することとしており、**平成24年7月出水と同規模の降雨があった場合、川の水位を約1.4m程度低下させ氾濫を防止**するものであり、**平成28年度末までに概ね完了**していた。
- 今回の豪雨では平成24年7月出水と比べて**約1.6倍もの降雨**となったが、これまでの治水対策により**浸水面積は約3割減、床上浸水家屋数は約3割減**とすることができた。
- 今後、洪水の氾濫の原因を早急に解明し、流量増への対応など改良復旧等を実施。

※河川激甚災害対策特別緊急事業

## 激特事業の概要

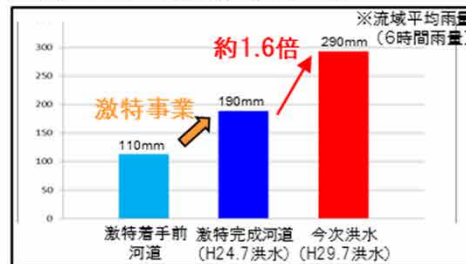
### 【事業概要】

- 事業内容：河道掘削、築堤、護岸、堰改築、橋梁改築等
- 期間：平成24年度～概ね5年間
- 全体事業費：9.7億円



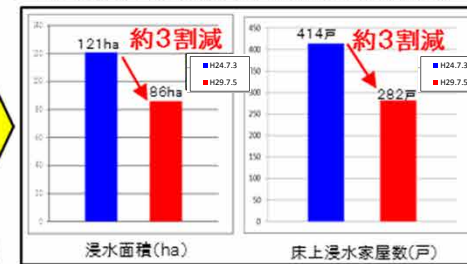
河道掘削、築堤及び横断工作物の改築により、平成24年7月出水と同規模の降雨に対して氾濫を防止

## 激特河道と今次洪水の降雨



※本資料の数値は速報値であり、今後の調査で変わる可能性があります

## 浸水被害の状況 (H24出水との比較)



※本資料の数値は速報値であり、今後の調査で変わる可能性があります

**激特事業の進捗により降雨量が増えても被害低減**

H24堤防決壊箇所

## 激特の整備状況

--- H28年度までに整備済み

--- H29整備箇所

### 凡例

--- H24浸水範囲

--- H29浸水範囲

## 施工箇所の状況 (取水堰撤去)

施工前(堰取水)

光岡頭首工撤去



施工後(ポンプ取水)



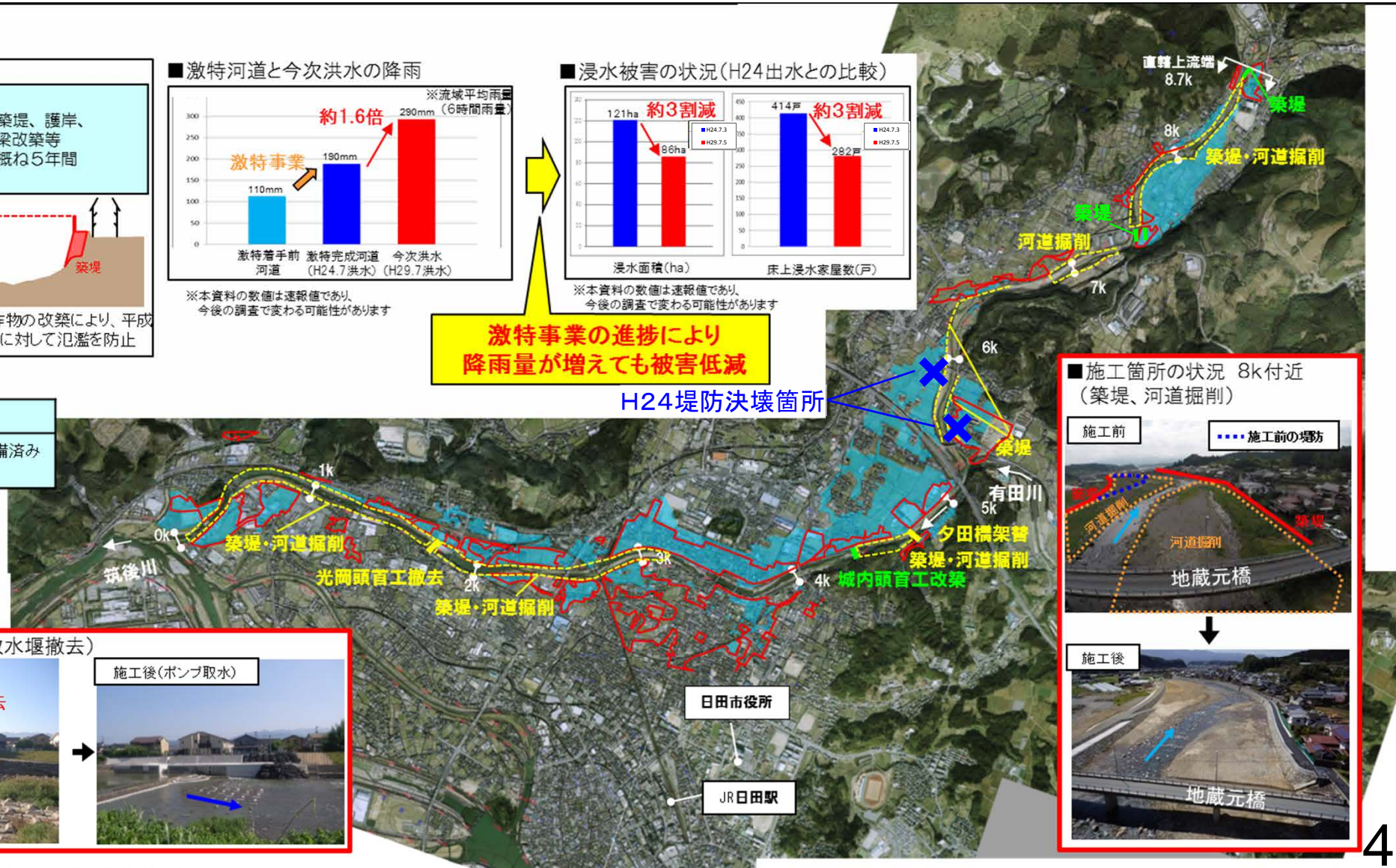
## 施工箇所の状況 8k付近 (築堤、河道掘削)

施工前

--- 施工前の堤防



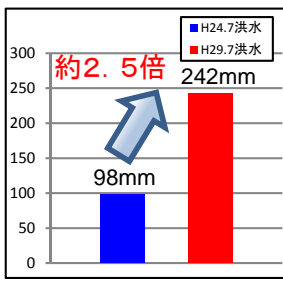
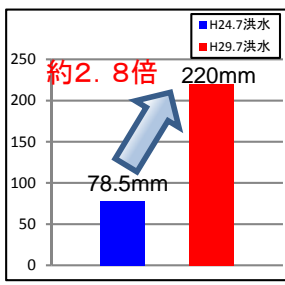
施工後



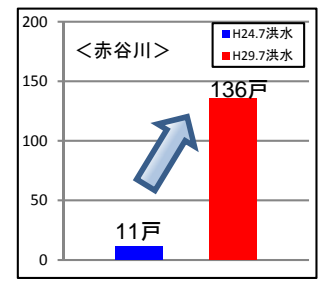
# 筑後川水系桂川等(県管理)の今次出水の状況

- ・H24年7月洪水では、筑後川の支川の桂川などで主に内水被害が発生。
- ・H29年九州北部豪雨では、**H24年出水と比べて、朝倉雨量観測所では約2.8倍の降雨となり、山腹崩壊が生じて、大量の土砂や流木が流出し、甚大な被害が発生。**
- ・今後、今回の降雨量や土砂流出状況等について調査の上で、関係機関とも調整を図りながら、対策について検討・着手予定。

降雨・浸水被害状況 (H24出水との比較)



※H29の被害状況は現在調査中のため、災害情報第47報(8.21時点)の数値を記載

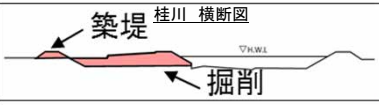


桂川浸水状況 (平成24年)

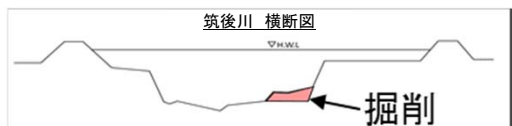


平成24年洪水では、筑後川本川の水位が高く、桂川の排水ができずに浸水被害が発生

②河道掘削および築堤により、川幅を倍程度にすることで桂川の断面積を大幅に拡大



①筑後川本川の河道を掘削することで水位を低下させ、洪水時においても桂川の排水を可能にした



× 堤防決壊箇所

今回浸水したと想定される箇所 (四国地整へり映像をもとに九州地整にて作成)

H24 浸水箇所

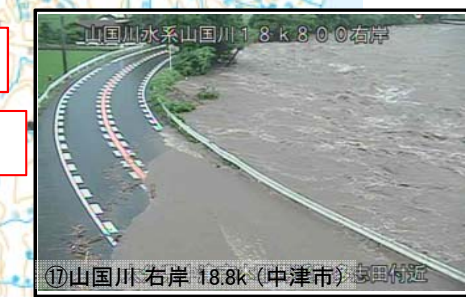
# 河川の被災状況と復旧の概要(国管理河川)

8/31  
15:00時点

- 3水系4河川25カ所で洪水等が発生(浸水は全て解消)。
- 4水系7河川53カ所で堤防洗掘、護岸損壊等が発生。被災規模が大きい4カ所で緊急復旧完了。その他の49カ所で応急復旧等完了。



- 一般被害(浸水等の被害)
- 河川管理施設等被害(堤防等の被害)
- 上記のうち緊急復旧工事を実施中または完了した箇所
- 雨量観測所
- 水位観測所



(注)数値等は変更になる場合があります。

# 河川の被災状況の概要(県管理河川)

8/31  
15:00時点

- 福岡県、大分県等管理の3水系28河川で堤防決壊、溢水、家屋損壊が発生。
- 10水系64河川で堤防決壊、護岸損壊等が発生。被害規模が大きい3河川全てについて7月21日までに緊急復旧完了。



② 大刀洗川(大刀洗町) 7/5 15:00撮影



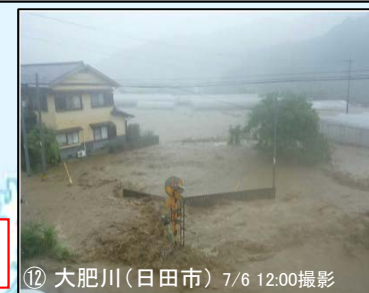
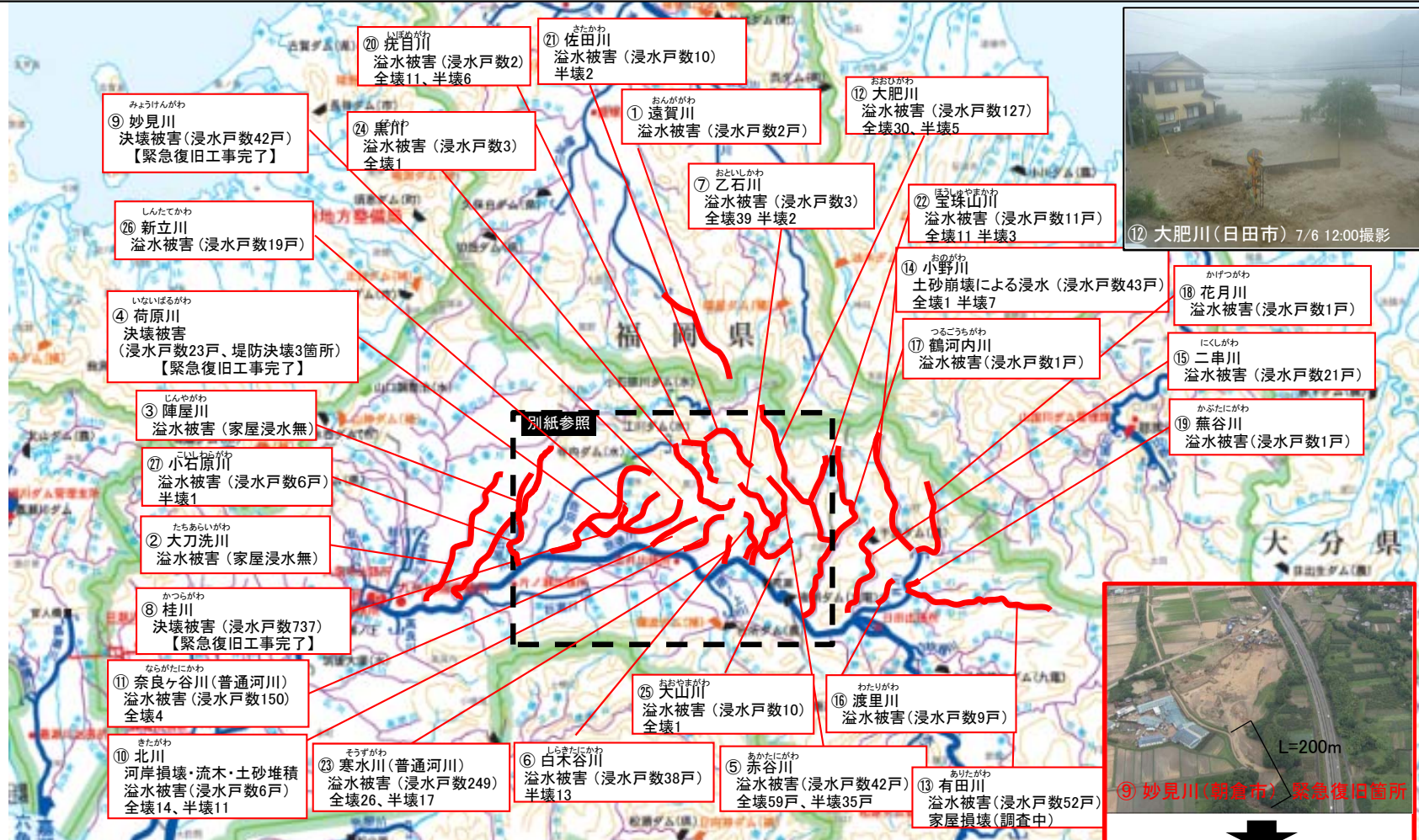
③ 陣屋川(大刀洗町) 7/5 17:00撮影



③ 陣屋川(大刀洗町) 7/5 17:00撮影



⑭ 小野川(日田市)



⑫ 大肥川(日田市) 7/6 12:00撮影



⑨ 妙見川(朝倉市) 緊急復旧箇所



④ 荷原川(朝倉市) 緊急復旧状況



緊急復旧完了(7/13)



⑧ 桂川(朝倉市) 緊急復旧箇所



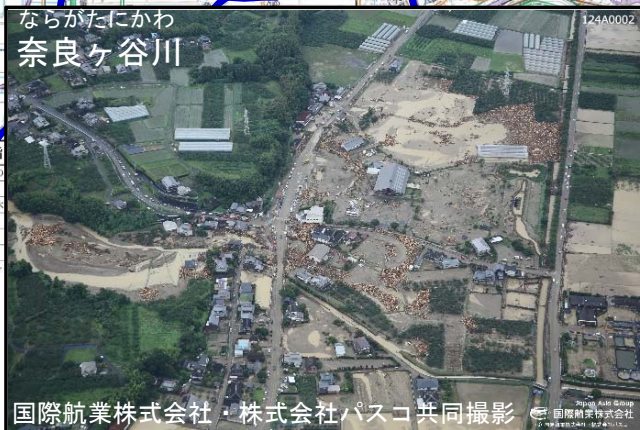
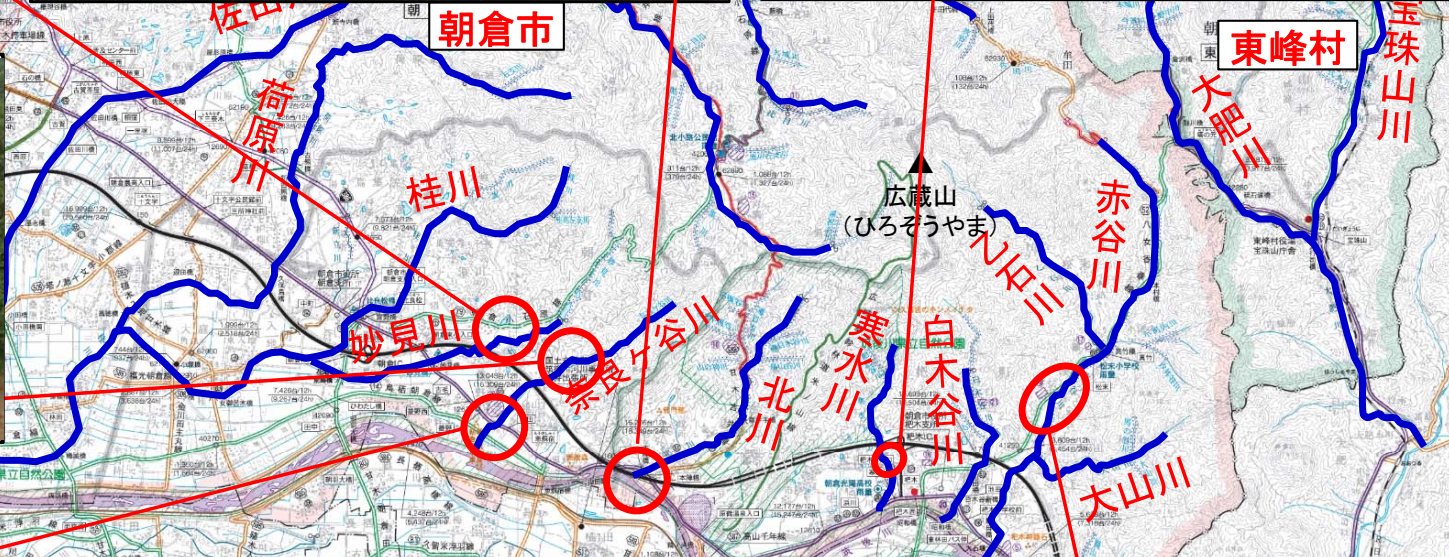
緊急復旧完了(7/14)



緊急復旧完了(7/21)



# 流木状況 (朝倉市・東峰村)



# 河川流木の緊急調査を実施（福岡県朝倉市内赤谷川等）

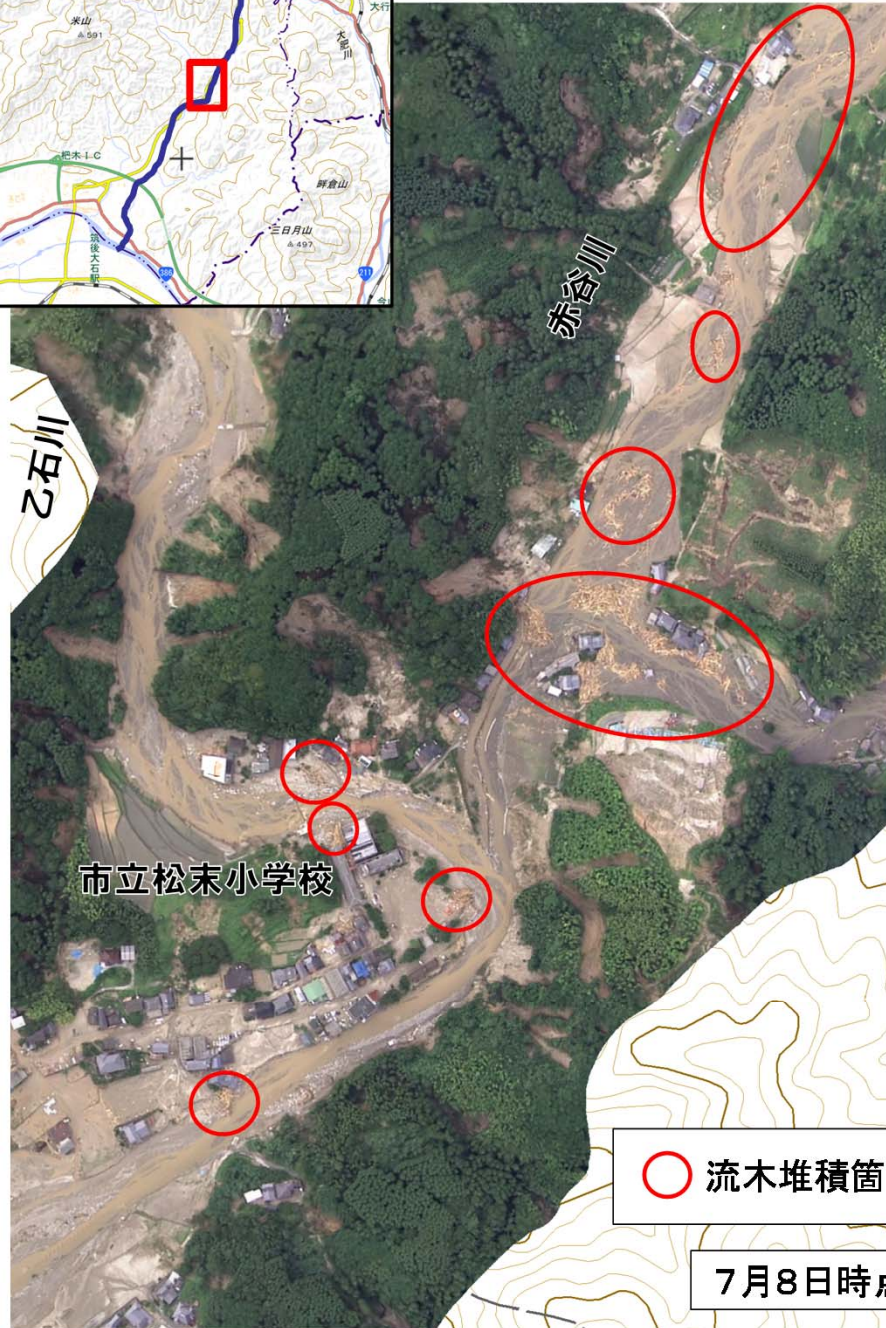
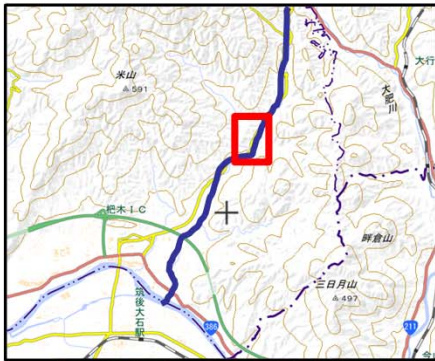
- ・ 今回の豪雨により、福岡県朝倉市内を流れる赤谷川、奈良ヶ谷川等について、大量の流木が発生。
- ・ 河川流木の堆積状況について、国土交通省と福岡県は合同チームを結成し、7月13日（木）緊急調査を赤谷川等4河川で実施。

## 調査位置図



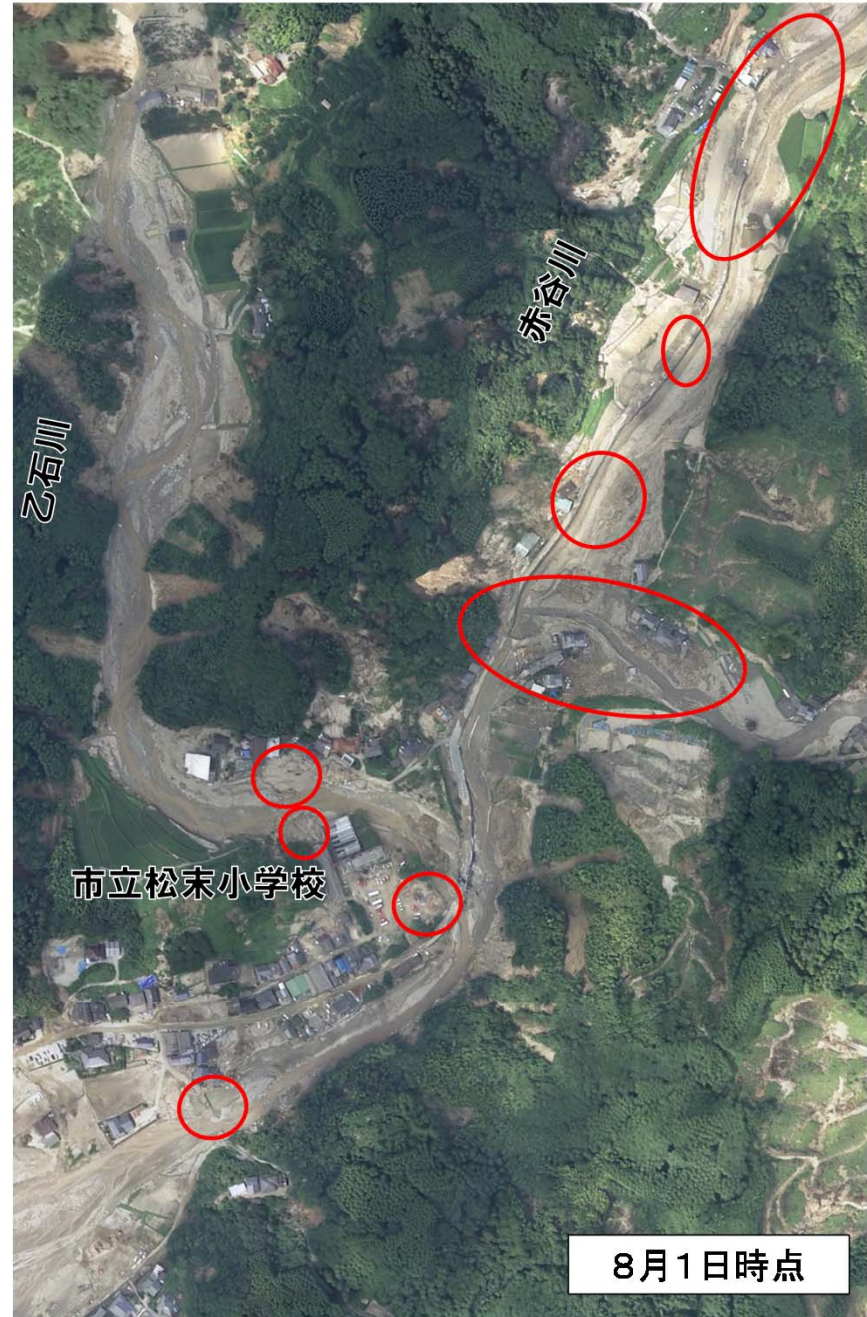
# 流木の撤去状況

赤谷川(朝倉市杷木松末 周辺)  
はきますえ



7月8日時点

(防災ヘリ撮影)

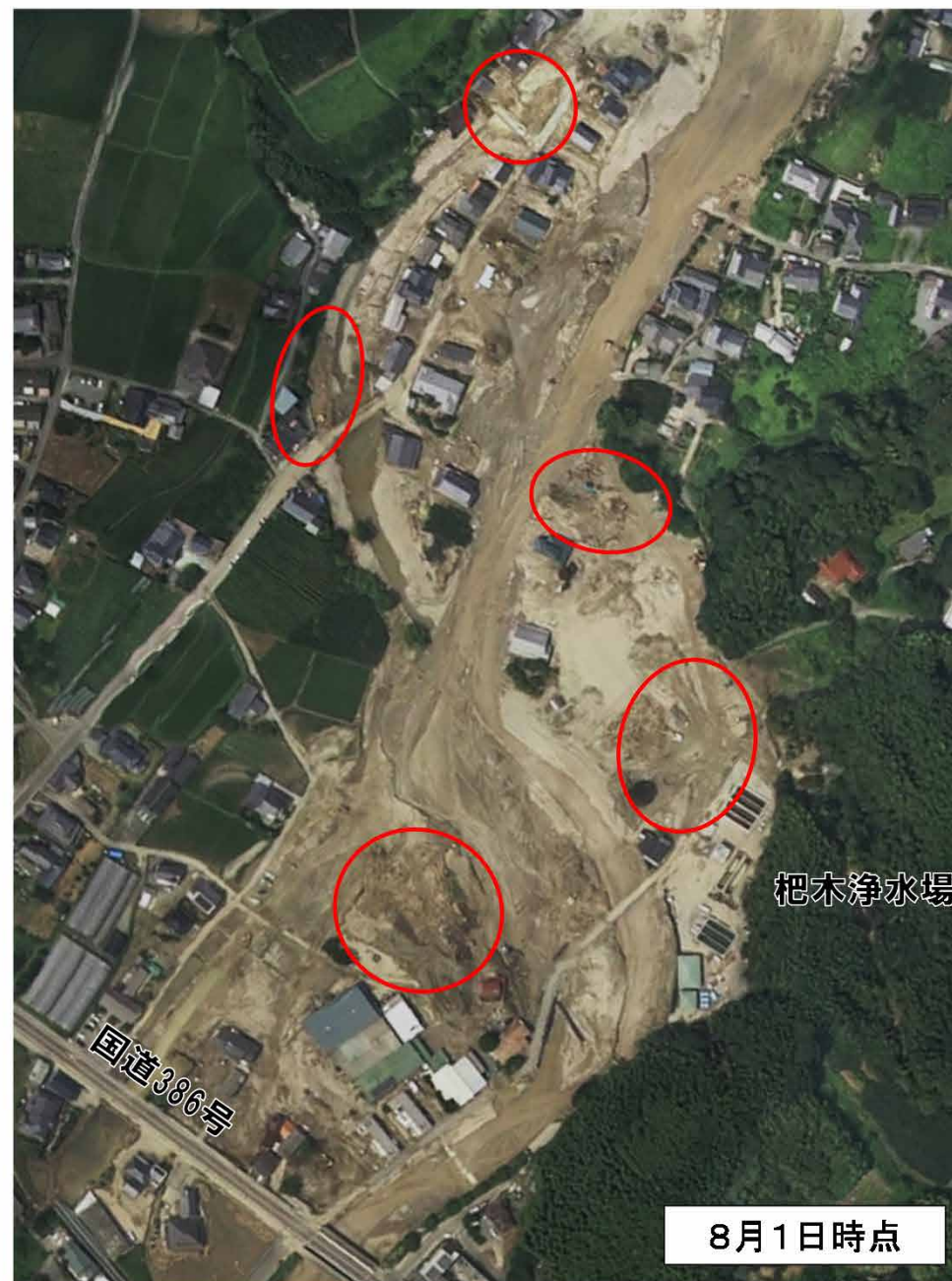
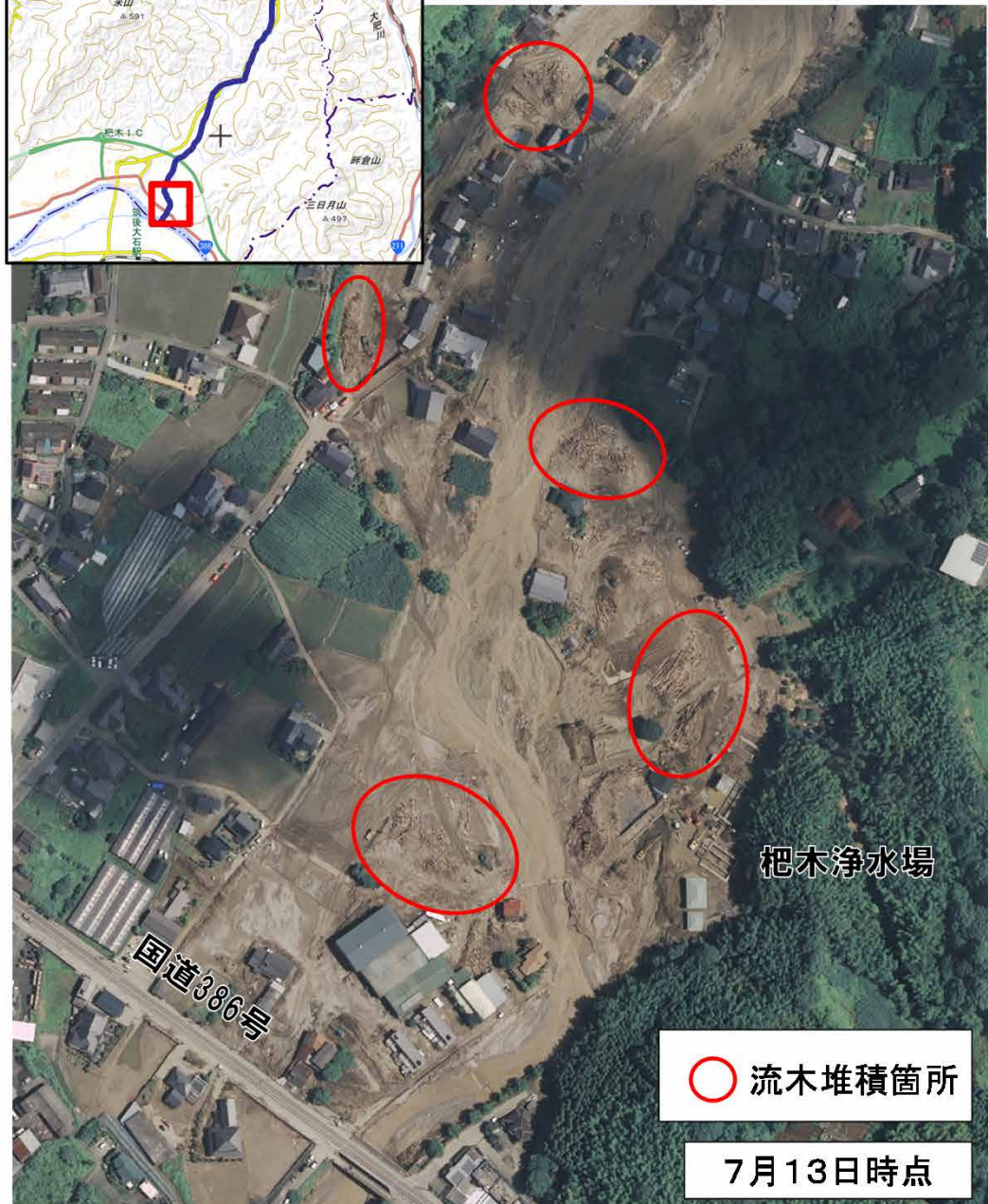


8月1日時点

(防災ヘリ撮影)

# 流木の撤去状況

はきはやしだ  
赤谷川(朝倉市杷木林田周辺)



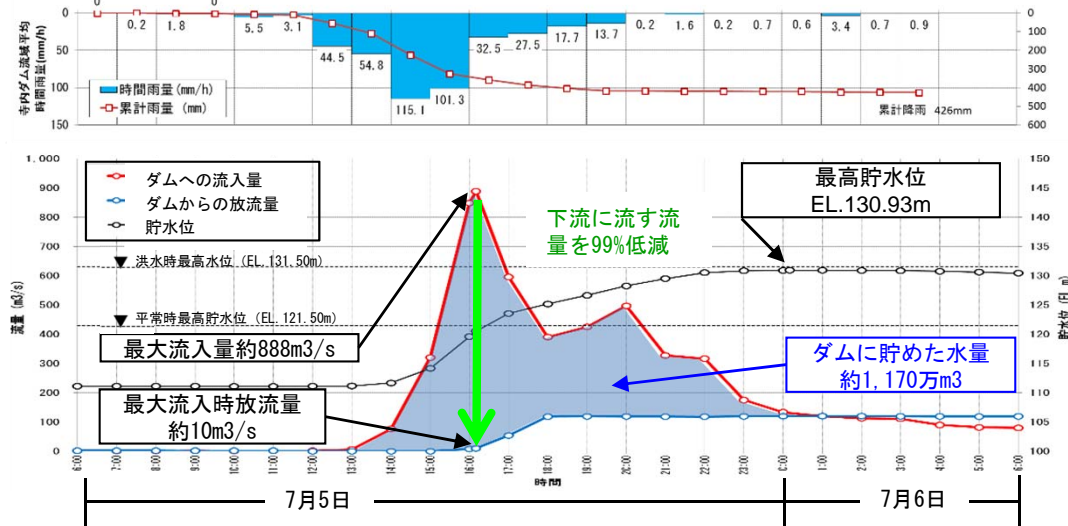
(国土地理院測量用航空機撮影)

(防災ヘリ撮影)

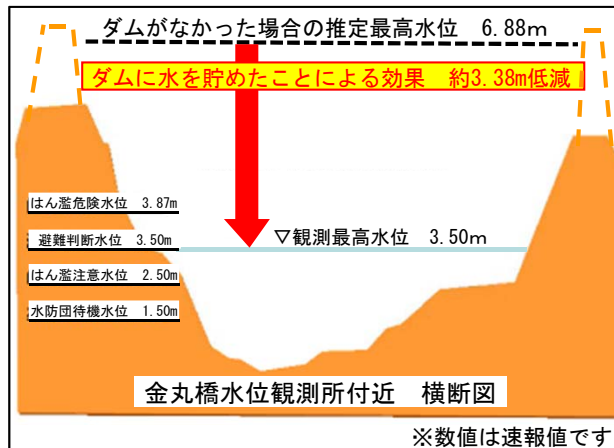
# 寺内ダムの防災操作による効果について

- 平成29年7月5日の梅雨前線に伴う豪雨において、**佐田川流域では総雨量が400mmを超える記録的な降雨となり、寺内ダムでは管理開始以降最大の流入量を記録。**
- 寺内ダムの防災操作によって、ダム下流に流す流量を最大約99%低減し、下流河川の水位を低減。**
- 仮に、寺内ダムが整備されていなければ、佐田川において堤防高を大きく上回る洪水となり、佐田川の氾濫により浸水面積約1,500ha、浸水世帯数約1,100世帯の被害が発生していたと推定。**
- また、ダム貯水池で大量の流木を捕捉。**

## ■寺内ダム防災操作の状況



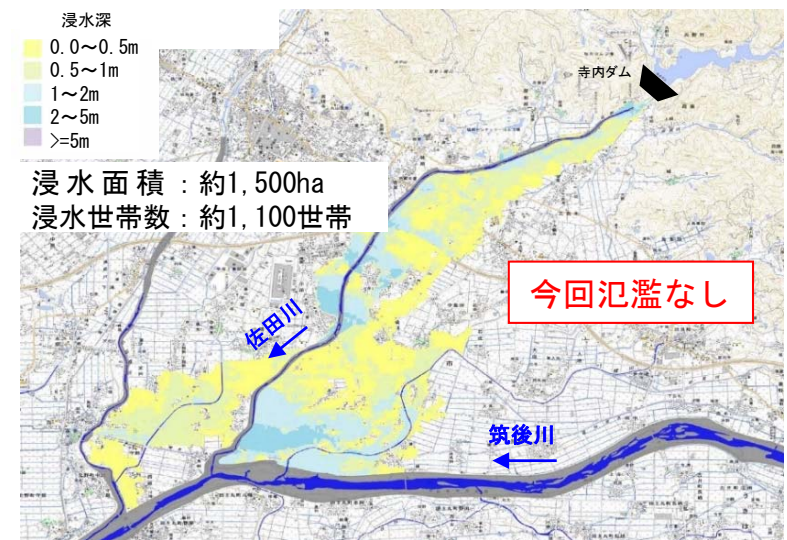
※寺内ダム集水域上で斜面崩壊が多数発生しており、寺内ダム流入量に斜面崩壊に伴う土砂等の影響が含まれている可能性がある。



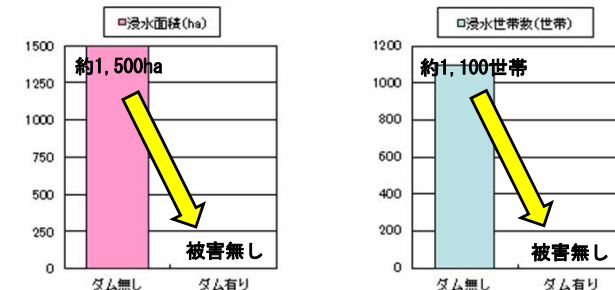
## ■流木捕捉状況



## ■寺内ダムが無かった場合の浸水想定



※地盤高は、国土地理院が公表している基礎地図情報のデータを使用しています  
 ※ダムが無かった場合の浸水深については、シミュレーション(堤防越水氾濫)結果より推定しています  
 ※浸水面積及び浸水世帯数は朝倉市域及び大刀洗町域を対象(H22国勢調査)  
 ※数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります



※ダムが無かった場合の被害についてはシミュレーション結果より推定しています  
 ※ダム有りについては、今回出水で佐田川からの越水による被害が無かったことから被害無しとしています  
 ※数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります

# 大量の流木の捕捉

- ・福岡県朝倉市須川では、豪雨により多数の斜面崩壊等が発生したが、既設砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、下流の人家等への被害が軽減。
- ・推定流木捕捉量は16,500m<sup>3</sup>(空隙込み)。



砂防堰堤下流の保全対象  
(工場、人家等)



須川第1砂防堰堤  
堰堤高7.0 m、堰堤長74.8m

妙見川上流域  
平成29年7月14日撮影

# 今後の流木対策の進め方

流木による被害を減少させるため、**砂防事業として以下の流木対策を強力に推進**

## 新設砂防堰堤

- 流木等を確実に捕捉するために、透過構造を有する施設(例えば、透過型砂防堰堤、流木捕捉工)を原則設置する改訂を行った(平成28年4月)。
- 透過構造を有する施設の設置を推進する。



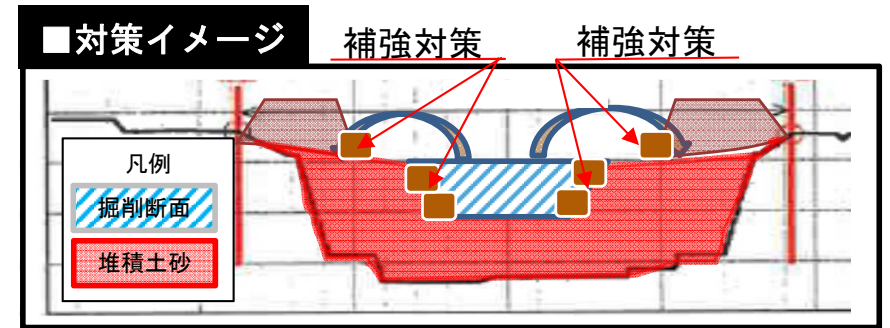
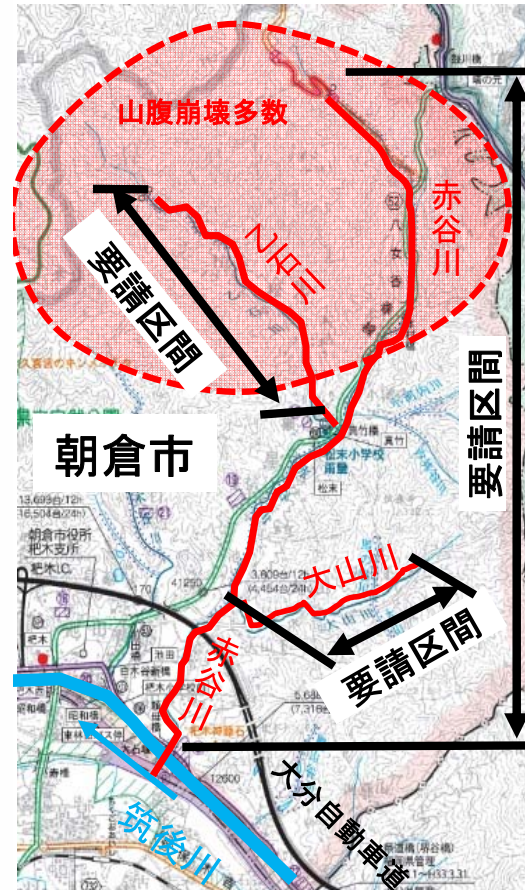
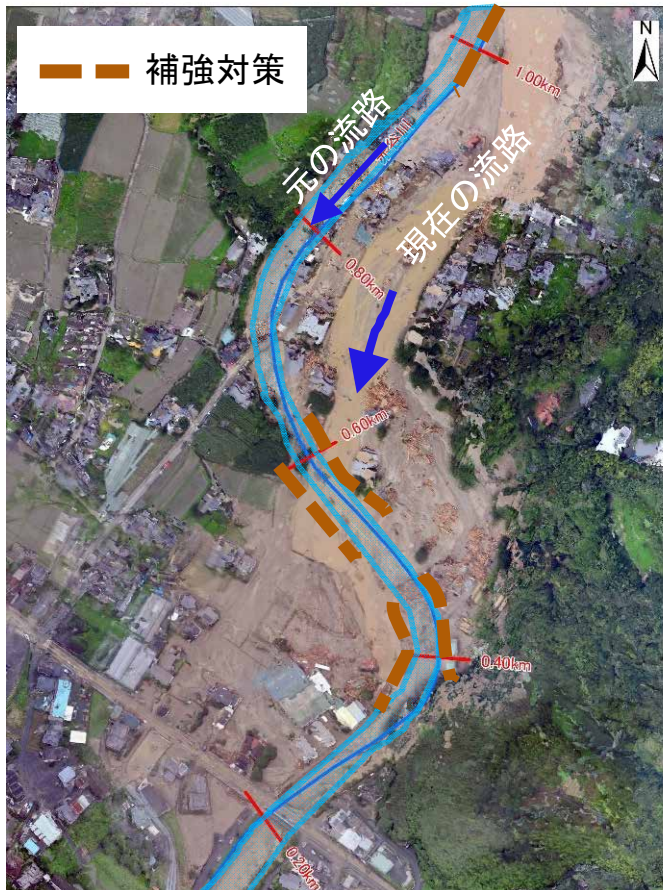
## 既設砂防堰堤

- 流木の捕捉効果を高めるための改良を行う。
- 特に多量の流木の流出が想定される流域など下流への被害の拡大が懸念される流域において、既設堰堤の有効活用を積極的に進める。



# 権限代行による福岡県管理河川の土砂・流木の除去について

- あかたに おおやま おといし
- 赤谷川、大山川及び乙石川では、**大量の土砂や流木により河道が埋塞。**
  - 二次災害が発生するおそれが極めて高い状況**であり、**通常の雨を安定して流せるような流路を緊急対応として確保。**
  - 堆積土砂は流動性が高いため、雨天時における流路の変化を予測し家屋等に影響がないよう元の河道内へ導くなどの対応を図っていく必要があり、**国土交通省が有する高度な技術力が必要。**
  - 7/14(金)知事から地整局長へ要請。7/18(火)大臣から実施する旨公表。7/19(水)現地着手。**



※対策は現地状況に応じて実施

■赤谷川中流付近





# 権限代行による福岡県管理河川の土砂・流木除去の実施状況

あかたに おおやま おといし  
 ・赤谷川、大山川及び乙石川では、通常の雨を安定して流せるような流路の確保に向けて、掘削機械90台を投入し、土砂・流木の除去、河岸の保護を実施中。【8月末時点】



平成29年8月末時点の流路確保状況



# 筑後川水系赤谷川流域における直轄砂防災害関連緊急事業の実施

- ・筑後川水系赤谷川流域において発生した土砂災害について、**流域内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐための緊急的な砂防工事を実施。**(全体事業費約28億円)
- ・8月15日に事業着手し、翌日の16日から工事用道路の造成等の工事に着手。



## 【筑後川水系赤谷川】

あさくらし はきますえ  
福岡県朝倉市杷木松末地区

- 平成29年7月九州北部豪雨による被害状況  
人家275戸(杷木地域)\*、公共施設、県道52号等
- 主な対策工  
砂防堰堤工2基、遊砂地工1基、  
強靱ワイヤーネット工4基

※: 朝倉市HP災害情報より(8月9日時点)



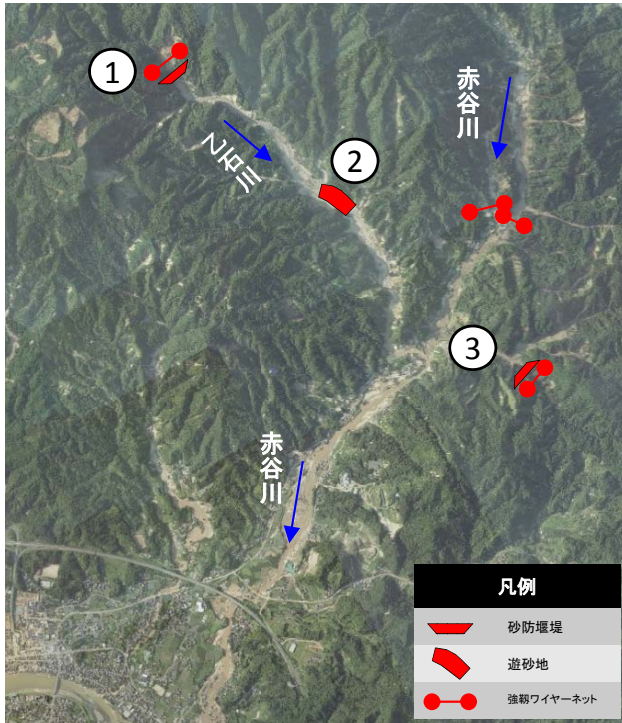
赤谷川上流に残存する土砂・流木の状況

7月20日撮影



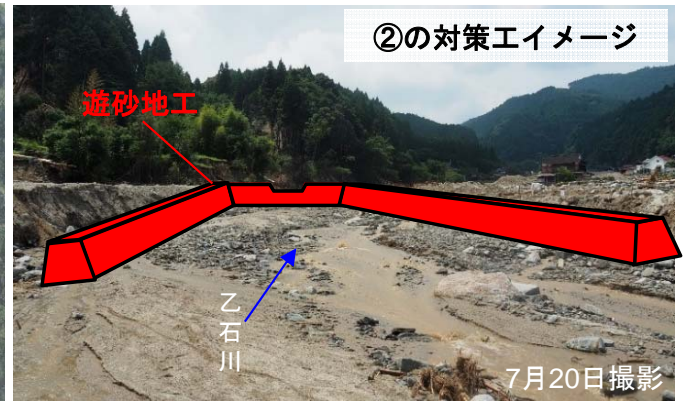
赤谷川下流の状況(本川合流点)

7月10日撮影



凡例	
	砂防堰堤
	遊砂地
	強靱ワイヤーネット

現地測量等の結果によっては、施設の位置等は変更となる場合があります。



②の対策工イメージ

遊砂地工

乙石川

7月20日撮影



①の対策工イメージ

砂防堰堤工

乙石川

7月7日撮影



③工事用道路の造成

8月16日撮影

# ホットラインの実施状況と効果

・国管理河川では、河川事務所と自治体で作成していた水害対応タイムラインを活用し、**河川事務所長等と市町村長等のホットラインを17市町村に延べ35回※実施。**

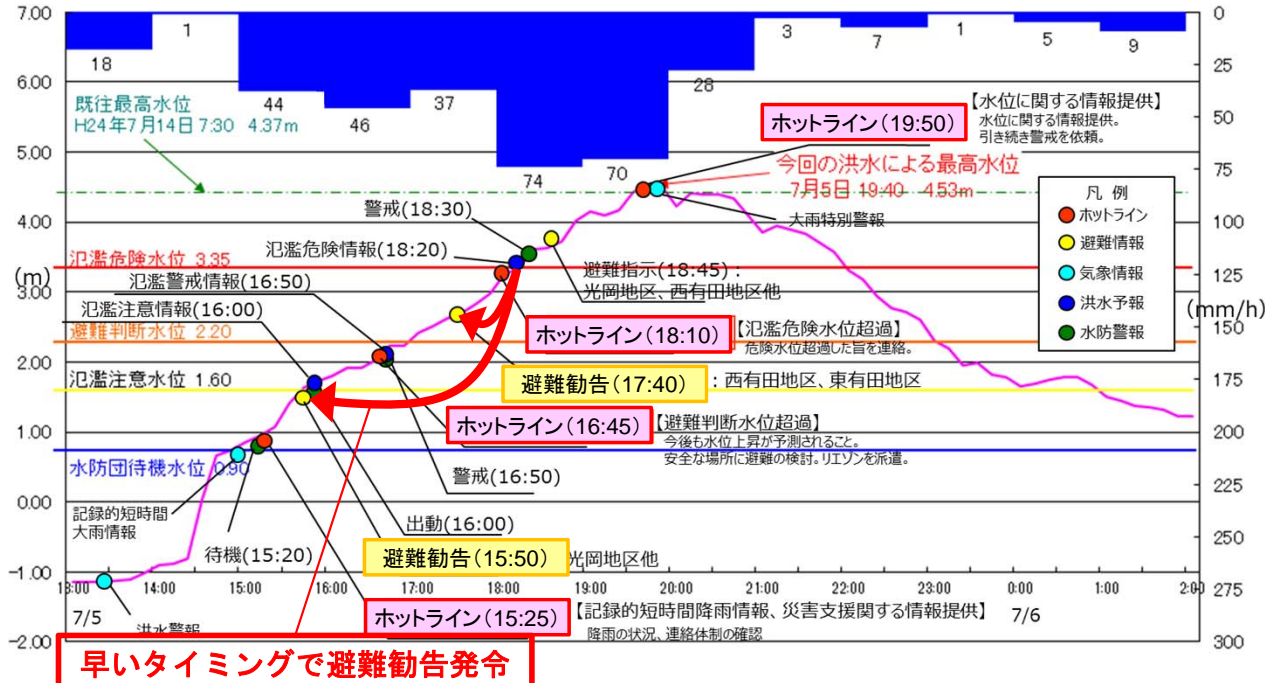
※7月5日から6日朝までに、被害の生じた3水系(遠賀川、山国川、筑後川)で事務所長等から市町村長等に対して実施したもの

・タイムラインを踏まえたホットラインにより、筑後川河川事務所長から日田市長に河川の状況等を伝え、それを受けた市長は、対象地域へ早いタイミングで避難勧告を発令し、住民への避難の呼びかけを実施。

7月5日からの豪雨に伴い、花月川ではJR久大線橋梁の流出や、800戸を超える家屋の浸水被害が発生。

## 筑後川河川事務所から日田市へのホットラインの例

花月水位観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



※1) 本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。  
※2) 避難勧告・避難指示は、花月川に関係している部分のみを記載しています。

避難勧告	5日15:50	光岡地区ほか (9,734世帯23,543人)
避難勧告	5日17:40	西有田地区ほか (1,074世帯2,939人)
避難指示	5日18:45	光岡地区、西有田地区ほか (10,808世帯26,482人)

九州北部豪雨ホットライン実施市町村

水系	県	市町村	回数
筑後川	福岡県	朝倉市	5
		うきは市	2
		久留米市	2
		小郡市	1
		大刀洗町	1
		東峰村	1
		大分県	日田市
佐賀県	鳥栖市	1	
	熊本県	小国町	3
遠賀川	福岡県	添田町	4
		嘉麻市	1
		糸田町	1
		大任町	1
		直方市	1
		田川市	1
		福智町	1
山国川	大分県	中津市	5
合計			35

※被害の生じた3水系で、7月5日から6日朝までに、事務所長等と市町村長等の間で実施されたものの

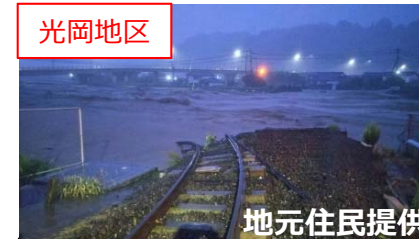
【位置図】



筑後川水系  
花月川

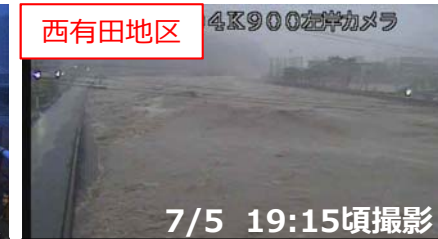


光岡地区



地元住民提供  
筑後川水系花月川 左岸  
0.2k JR久大線橋梁流出

西有田地区



7/5 19:15頃撮影  
筑後川水系花月川 左岸  
4.9k付近 氾濫状況

- ・九州、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国地方整備局、国土地理院から派遣された**TEC-FORCE (7/6～8/16のべ3,465人・日)**が河川・道路等の被害状況調査、道路啓開など、**2県11市町村**において活動。
- ・8月8日までに**福岡県、大分県の河川、道路等の約1,800箇所**で被害状況調査を実施。
- ・**被災自治体へ復旧工法等を企画・提案、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献。**
- ・二次災害防止に向け、土砂災害危険箇所の緊急点検等 約1,300箇所(7月21日現地調査完了)のうち約570箇所を支援。

## 【TEC-FORCEの活動状況(概要)】

### ① 福岡県朝倉市 (のべ 1,401人・日)

河川、砂防:赤谷川、白木谷川等の被災状況調査  
道路:県道52号、79号、509号等の被災状況調査



### ② 福岡県東峰村 (のべ465人・日)

河川、砂防:宝珠山川等の被災 状況調査  
道路:県道52号等の被災状況調査、国道211号の道路啓開

国道211号道路啓開状況(7/11)



### ③ 福岡県添田町 (のべ 147人・日)

河川、砂防:長谷川等の河川、砂防の被災状況調査  
道路:町道陣屋・屋形原線、町道芝峠線等の道路の被災状況調査



### ④ 大分県日田市 (のべ 750人・日)

河川、砂防:小野川、花月川等の被災状況調査  
道路:県道107号、市道27路線等の被災状況調査



※速報値であるため、今後変更等の可能性があります。

○災害の原因の調査等を進めた上で、再度災害防止・軽減の観点から、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策プロジェクトを地域と連携しながら推進するとともに、得られた知見を全国に展開。

## 山地部の河川（土砂や流木の流出等により甚大な洪水被害が発生した河川：赤谷川等）

### <筑後川右岸流域 河川・砂防復旧技術検討委員会>（9/7～）

#### ○目的

土砂や流木の流出等により激甚な被災を受けた筑後川中流部右岸の支川に関し、技術的な観点から検討を行い、河川事業・砂防事業が連携した復旧に必要な基本的な考え方をとりまとめ

#### ○メンバー

学識者、国土技術政策総合研究所、土木研究所、福岡県、九州地方整備局  
※オブザーバーとして関係自治体も参加

#### ○検討事項

- ・被災状況、発生流量、発生土砂量、発生流木量等の整理
- ・発生土砂の抑制方策の検討
- ・土砂を考慮した赤谷川の河道整備方策の検討
- ・効果的な河川事業・砂防事業の連携方策の検討
- ・事業を踏まえた地域の安全性確保方策の検討 等

#### ○事務局

九州地方整備局、福岡県

## 平野部の河川（洪水氾濫による被害が発生した河川：花月川等）

<流域懇談会等> 必要に応じ学識者の意見を聴取

※大規模氾濫減災協議会においてソフト対策の検討を実施するなど、上記以外の取り組みも実施。

九州北部豪雨  
防災・減災対策プロジェクト（仮称）

河川事業  
砂防事業  
等へ反映

# 7月22日からの梅雨前線に伴う大雨に関する被害状況(秋田県)

平成29年9月5日

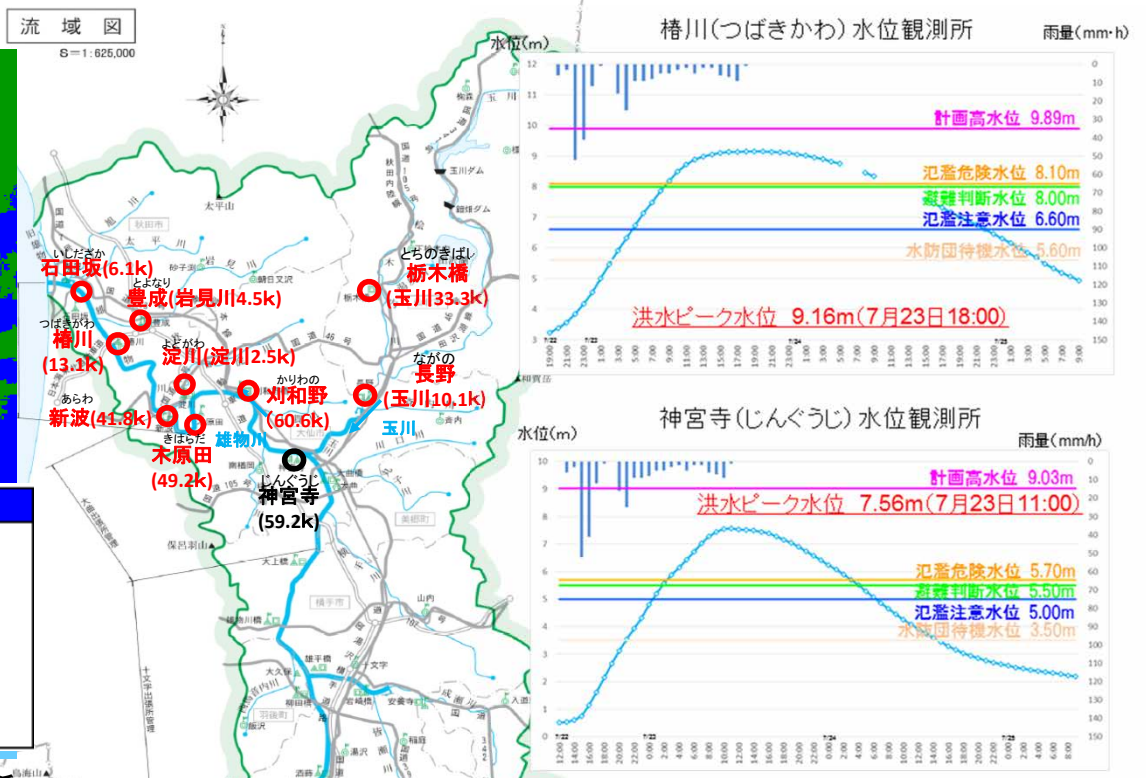
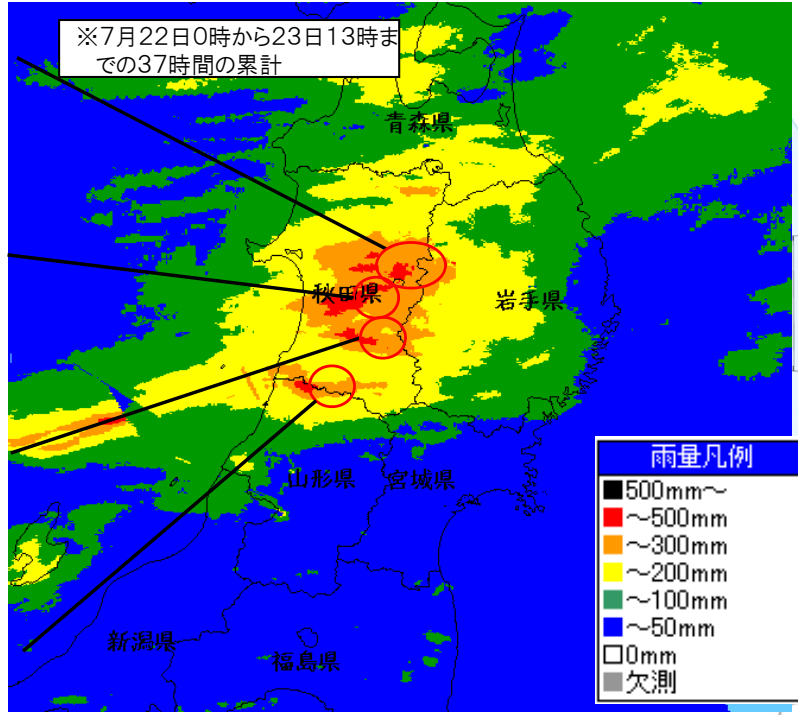
国土交通省

# 7月22日からの梅雨前線に伴う大雨の概要

- ・秋田県では、活発な梅雨前線の影響で非常に激しい雨となり、雄物川中下流部に位置する角館、雄和等の12観測所で24時間雨量が観測史上最大を記録するなど、多いところで累加雨量が300ミリを超える大雨となった。
- ・雄物川支川玉川及び玉川合流点より下流の雄物川本川及び右支川の10観測所のうち9観測所で、観測史上最高となる水位を記録した。

## ○累加雨量300mmを超えた観測所(累加雨量レーダ)

- ・中森川国交省(米代川) 381.0mm
- ・雄和気象庁(雄物川) 348.0mm
- ・横手気象庁(雄物川) 314.0mm
- ・大清水国交省(子吉川) 338.0mm



## ○支川玉川及び玉川合流点より下流の本線及び支川の観測所 ※正時データ

水系名	河川名	観測所名	距離標	基準水位(m)		平成29年7月22日出水(暫定値)		これまでの最高水位	
				計画高水位	はんらん危険水位	最高水位	生起時刻	最高水位	生起日
雄物川	雄物川	石田坂	左6.10k	計画高水位	—	6.27	H29/7/23 16:00	5.69	H23/6/24 24:00
		樽川	右13.05k	計画高水位	9.89	9.16	H29/7/23 18:00	9.07	S22/8/3 18:00
		新波	左28.40k	計画高水位	—	14.55	H29/7/23 17:00	13.65	H23/6/24 22:00
		木原田	左36.90k	計画高水位	—	11.42	H29/7/24 7:00	9.60	H23/6/24 21:00
		刈和野	右48.70k	計画高水位	11.00	9.04	H29/7/23 16:00	8.30	H23/6/24 15:00
		神宮寺	右59.18k	計画高水位	9.03	7.56	H29/7/23 11:00	7.74	H23/6/24 12:00~13:00
	岩見川	豊成	右4.50k	計画高水位	—	10.05	H29/7/23 10:00	9.16	H23/6/24 10:00
	はんらん危険水位		—	—	—	—	—	—	
	淀川	左2.50k	計画高水位	—	7.93	H29/7/23 9:00	6.36	H23/6/24 21:00	
	玉川	長野	左10.10k	計画高水位	—	—	—	—	—
	はんらん危険水位		4.00	5.03	H29/7/23 7:00	4.79	H19/9/17 23:00		
	桧木内川	榑木橋	左33.30k	計画高水位	—	4.49	H29/7/23 6:00	4.46	H19/9/17 20:00
				はんらん危険水位	—	—	—	—	

※本資料は7/25時点でデータの取得が来ている観測所の情報のみを用いて作成したものであり、今後、修正予定。

# 国管理河川の被災状況(雄物川水系)

8/31  
15:00時点

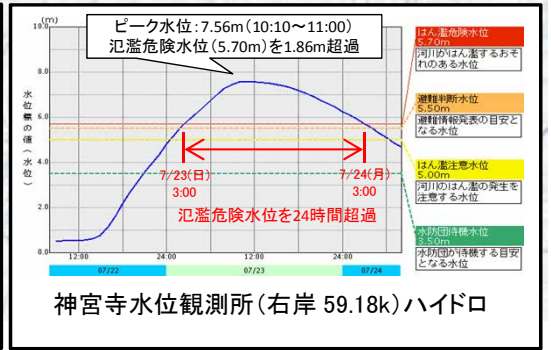
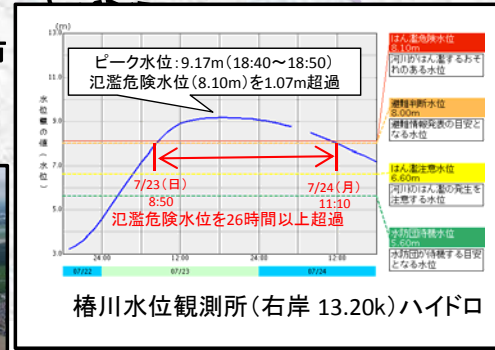
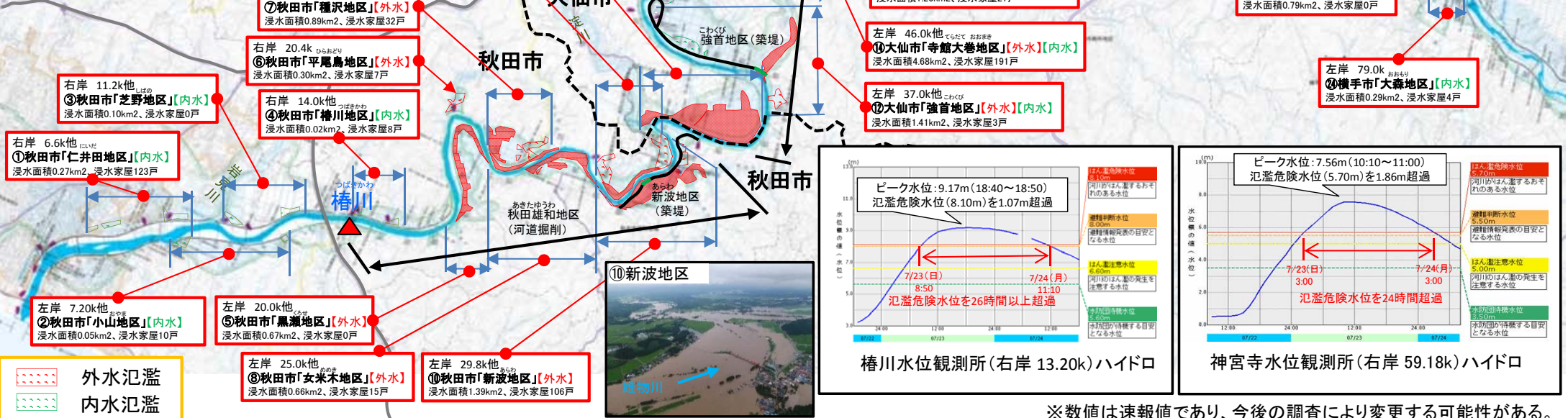
・7月22日からの豪雨により、雄物川(国管理区間)沿川の24地域(外水12地域、内水15地域※)で、浸水面積32km<sup>2</sup>、浸水家屋数1,028戸の浸水被害が発生。  
 ・下流の秋田市街部と上流の大仙市街部の間の中流部の無堤部から溢水し、浸水被害が生じた。  
 ※重複あり

## ■浸水面積 ※速報値

秋田市	5.2km <sup>2</sup> (外水4.7km <sup>2</sup> 、内水0.5km <sup>2</sup> )
大仙市	25.1km <sup>2</sup> (外水18.7km <sup>2</sup> 、内水6.4km <sup>2</sup> )
横手市	1.7km <sup>2</sup> (内水1.7km <sup>2</sup> )
合計	32.0km <sup>2</sup>

## ■浸水家屋数(住家) ※速報値

秋田市	334戸(外水193戸、内水141戸)
大仙市	690戸(外水501戸、内水189戸)
横手市	4戸(内水4戸)
合計	1,028戸



外水氾濫  
内水氾濫

被災報告箇所

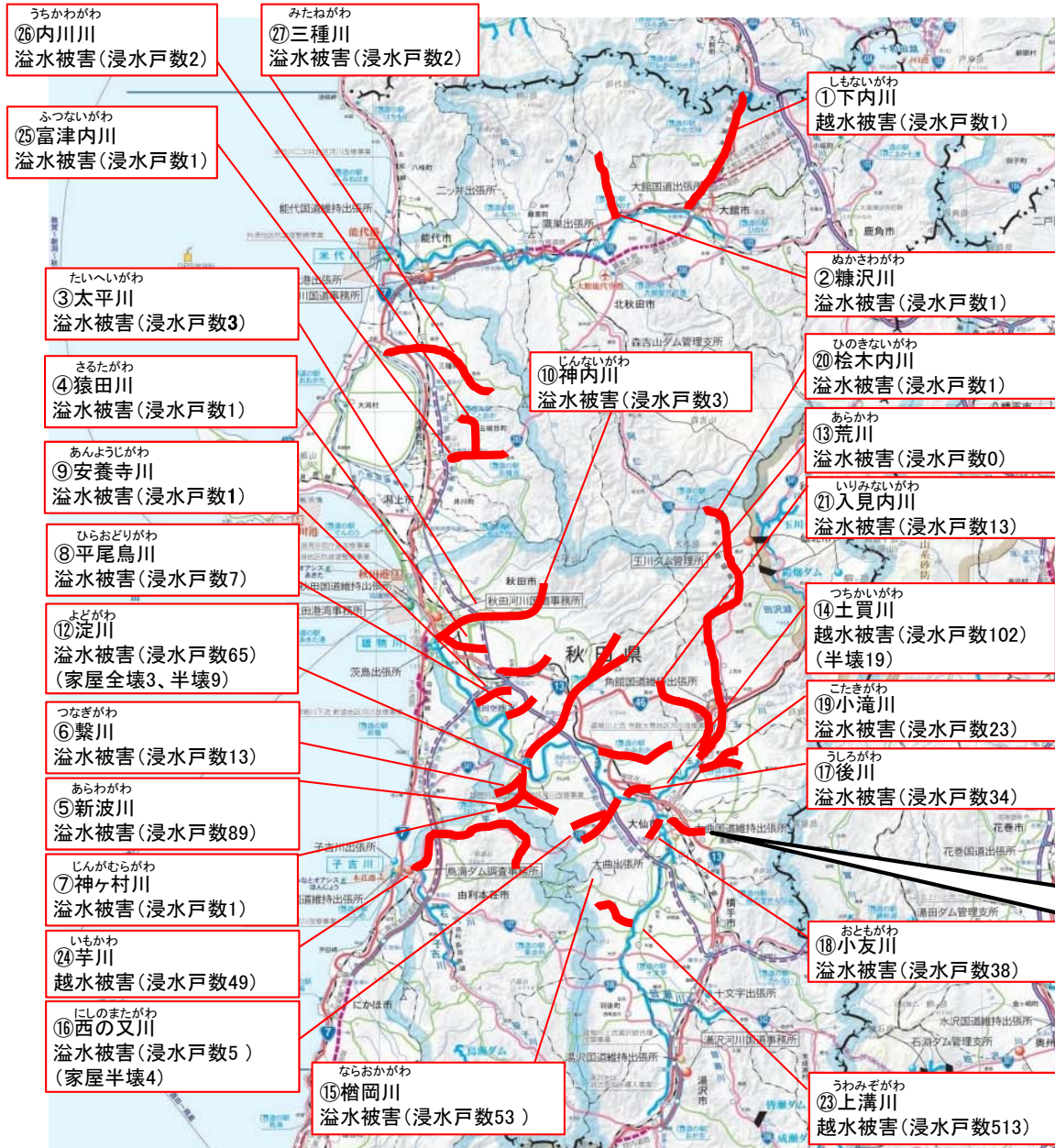
※数値は速報値であり、今後の調査により変更する可能性がある。



# 県管理河川の被災状況

8/31  
15:00時点

- ・雄物川水系、米代川水系、子吉川水系、馬場目川水系の4水系26河川で溢水・越水・内水が発生し、1,195戸の**浸水被害**、**35戸の家屋損壊**を確認。
- ・福部内川では氾濫危険水位を約29時間超過。



福部内川 溢水被害  
浸水家屋88戸

福部内川 内水被害  
浸水家屋114戸

# 国管理河川の応急対策状況

8/31  
15:00時点

- ・7月22日からの豪雨により国管理河川3水系4河川12箇所において護岸損壊等を確認
- ・被災規模の小さいもの除く5箇所について応急対策完了



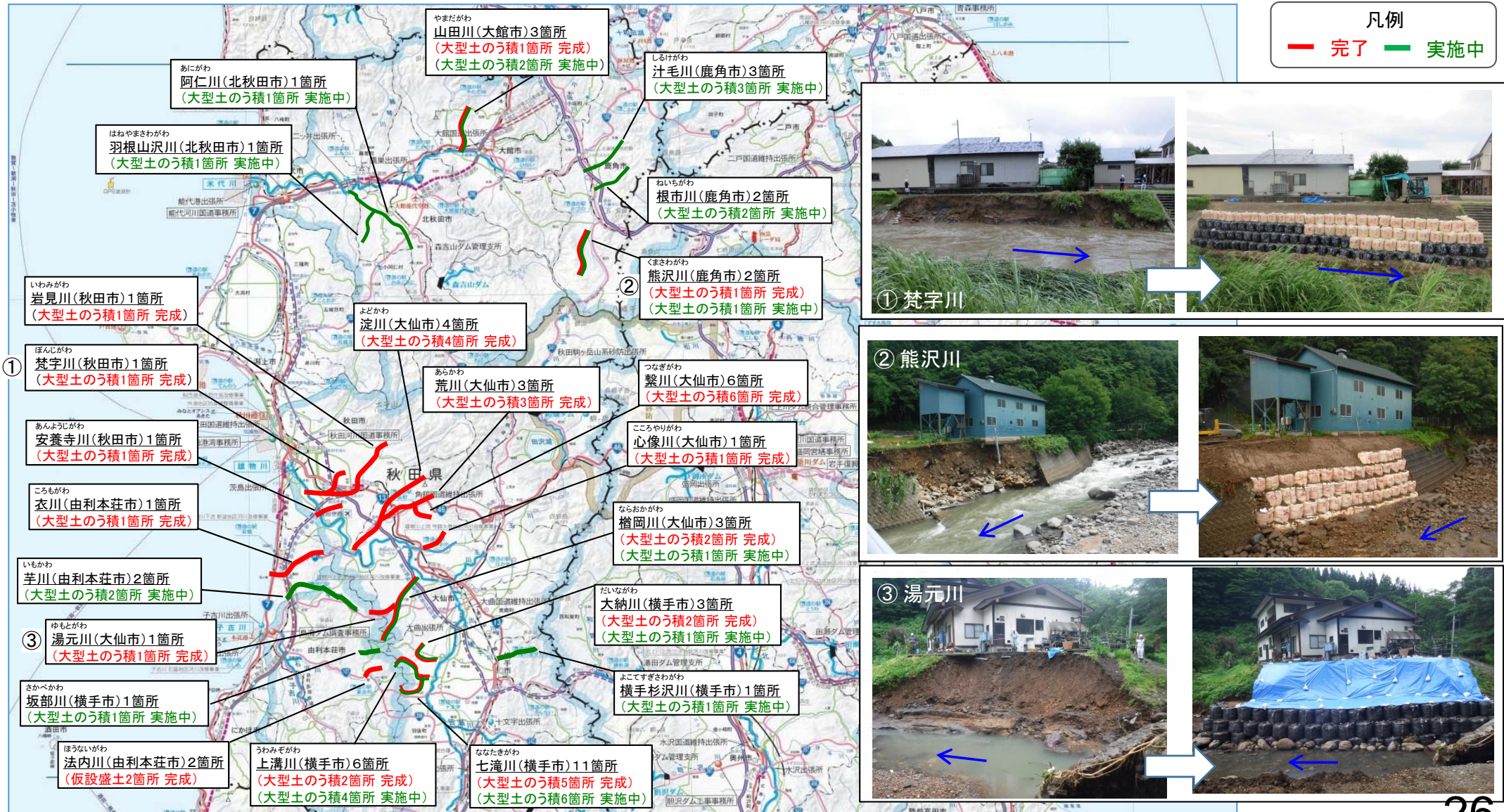
- ✖ 河川管理施設等被害(堤防等の被害)
- ✕ 上記のうち応急対策を実施中または完了した箇所



# 県管理河川の応急対策状況

8/30時点

- ・県管理 59河川で堤防決壊、護岸損壊等、施設被害が発生。
- ・県管理の荒川ほか22河川の60箇所<sup>①</sup>で応急工事(査定前着工)を実施。(8月30日現在:34箇所完成)

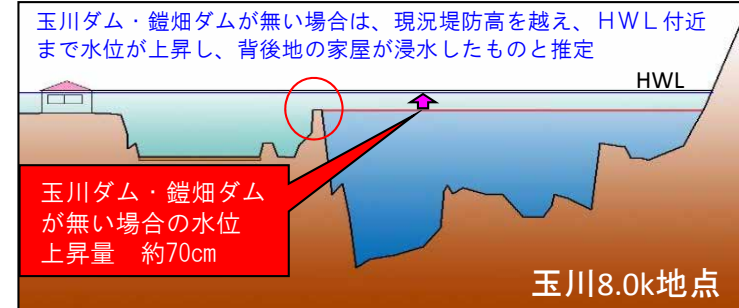
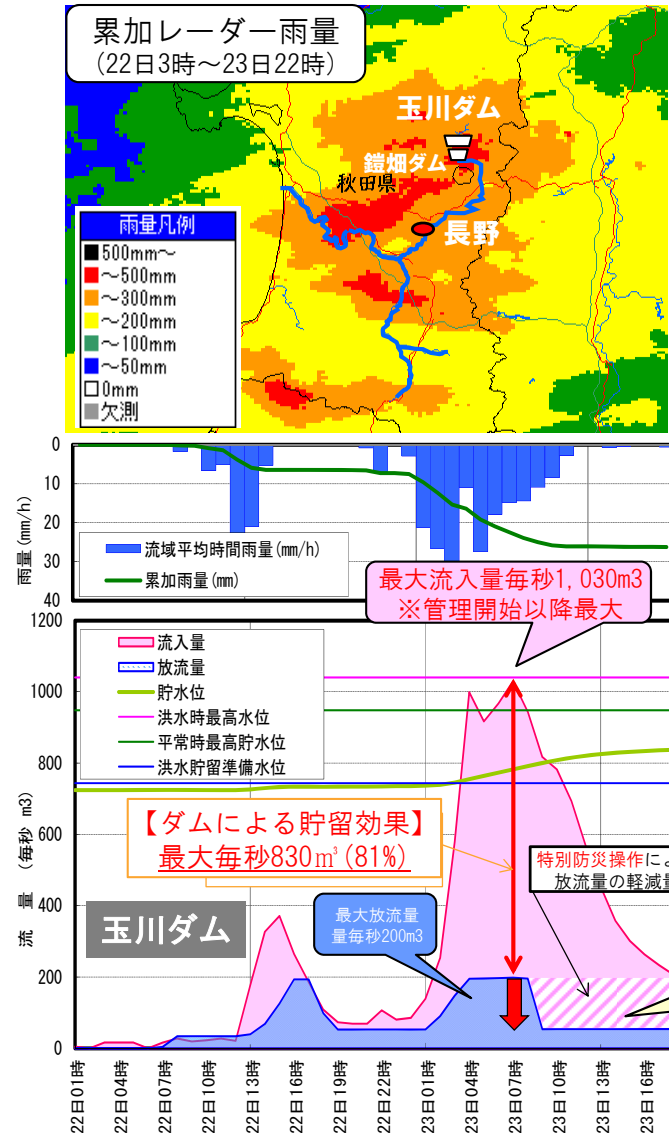


# おものがわ 雄物川ダム群の効果について

- ・雄物川水系玉川に位置する玉川ダム(国)・<sup>たまがわ</sup>鑑畑ダム(県)では、平成29年7月22日から防災操作を行った。玉川ダムでは平成3年の管理開始以降最大の流入量(約1,030m<sup>3</sup>/s)を観測し、ダムに流れてくる水量の一部(約3,170万m<sup>3</sup>※東京ドーム25個分)をダムに貯めることで下流へ流す水量を最大で約81%低減した。
- ・仮に、ダムが整備されていなければ、<sup>ながの</sup>長野地区周辺において洪水被害(浸水面積:約100ha、浸水戸数:約60戸、国道105号通行止め等)の恐れがあった。



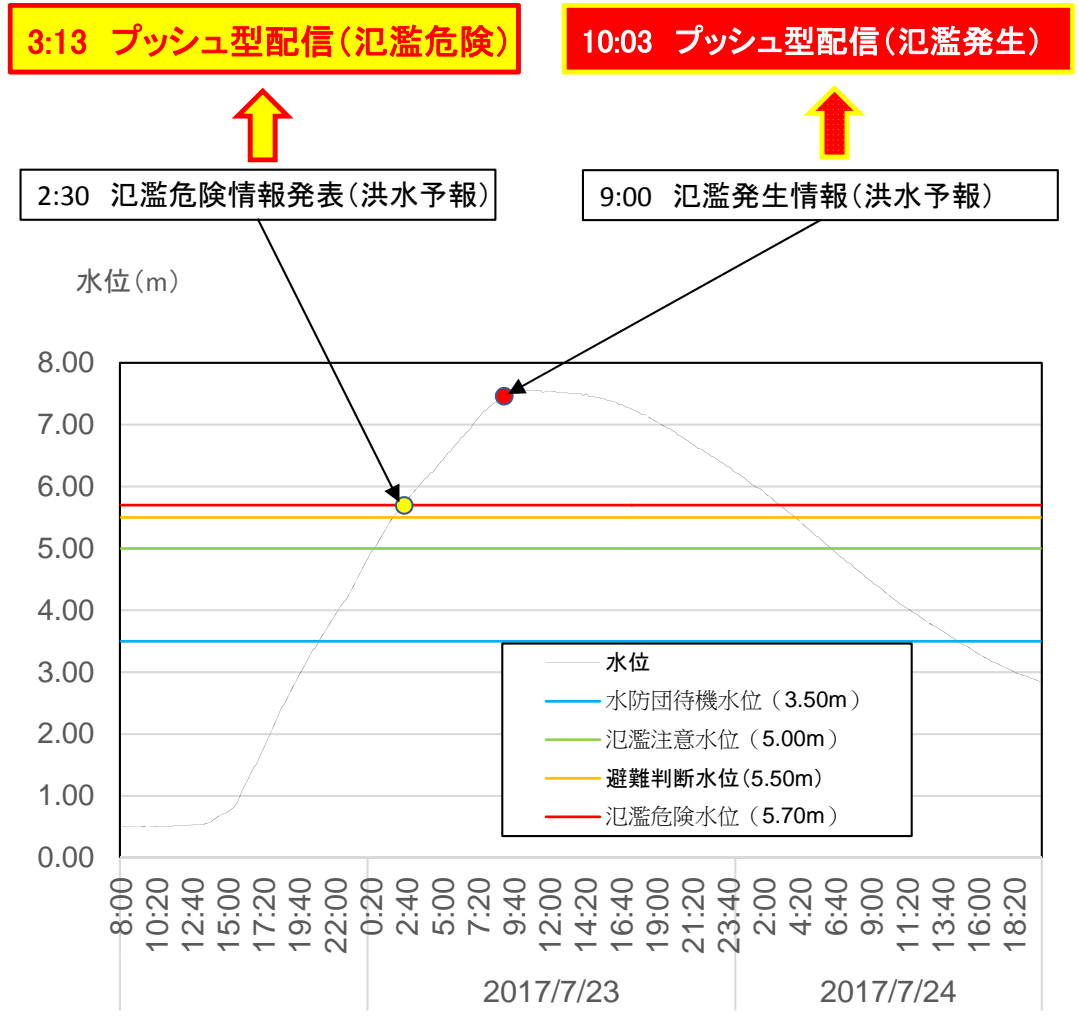
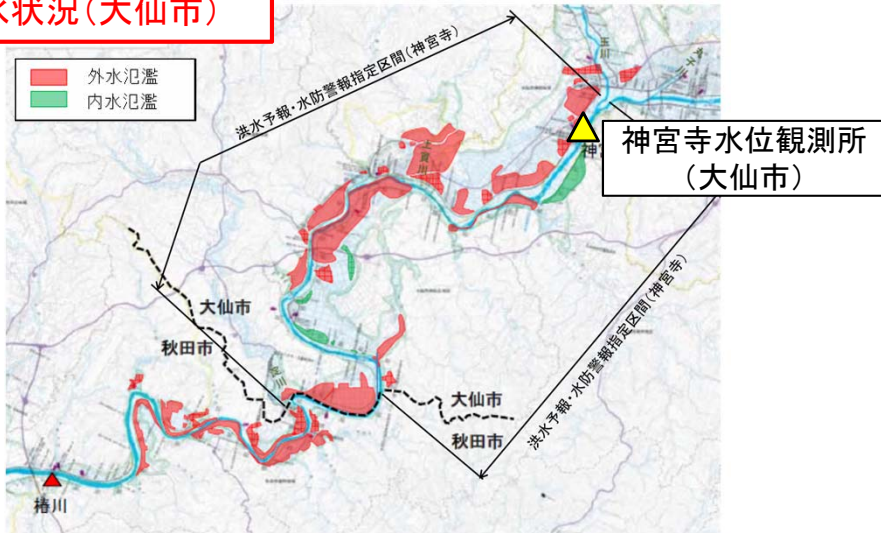
玉川ダム諸元(国土交通省管理)	
型式	重力式コンクリートダム
ダム高	100.0m
堤頂長	441.5m
総貯水容量	254百万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	229百万m <sup>3</sup>
鑑畑ダム諸元(秋田県管理)	
型式	重力式コンクリートダム
ダム高	58.5m
堤頂長	236.0m
総貯水容量	51百万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	43百万m <sup>3</sup>



おものがわ  
雄物川におけるプッシュ型配信の詳細について

- 7月22日からの豪雨において、雄物川水系（国管理）の洪水氾濫の危険性を緊急速報メールを活用し、住民等へプッシュ型で計4回配信。
- 特に、雄物川中流部では氾濫危険水位（神宮寺水位観測所）に達した情報と氾濫が発生した情報を秋田県大仙市の住民等に広く周知。

浸水状況(大仙市)



緊急速報メール  
県内で初の送信  
大仙市による雄物川の増水を  
受け、国土交通省は22日、洪  
水の危険性を周知する緊急速  
報メールを県内で初めて送信  
した。  
速報メールは国管理の河川  
で氾濫危険水位を越えた場合

受信メール  
2017/07/23 10:03  
河川氾濫発生  
雄物川の大仙市神宮寺館ノ西（右岸）付近  
及び大仙市神宮寺協和峰吉川（右岸）付  
近で河川の水が堤防を越えて流れ出てい  
ます。  
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確  
認し、各自安全確保を図るなど適切な防  
災行動をとってください。  
本通知は、東北地方整備局より浸水のお  
それのある市町村に配信しており、対象  
地域周辺においても受信する場合があります。  
(国土交通省)

▲秋田魁(さきがけ)新報(朝刊31面)

▲実際に配信されたエリアメール画面

▲雄物川神宮寺観測所における水位の時系列変化と警報等発令タイミング 28

# ホットラインの実施状況と効果

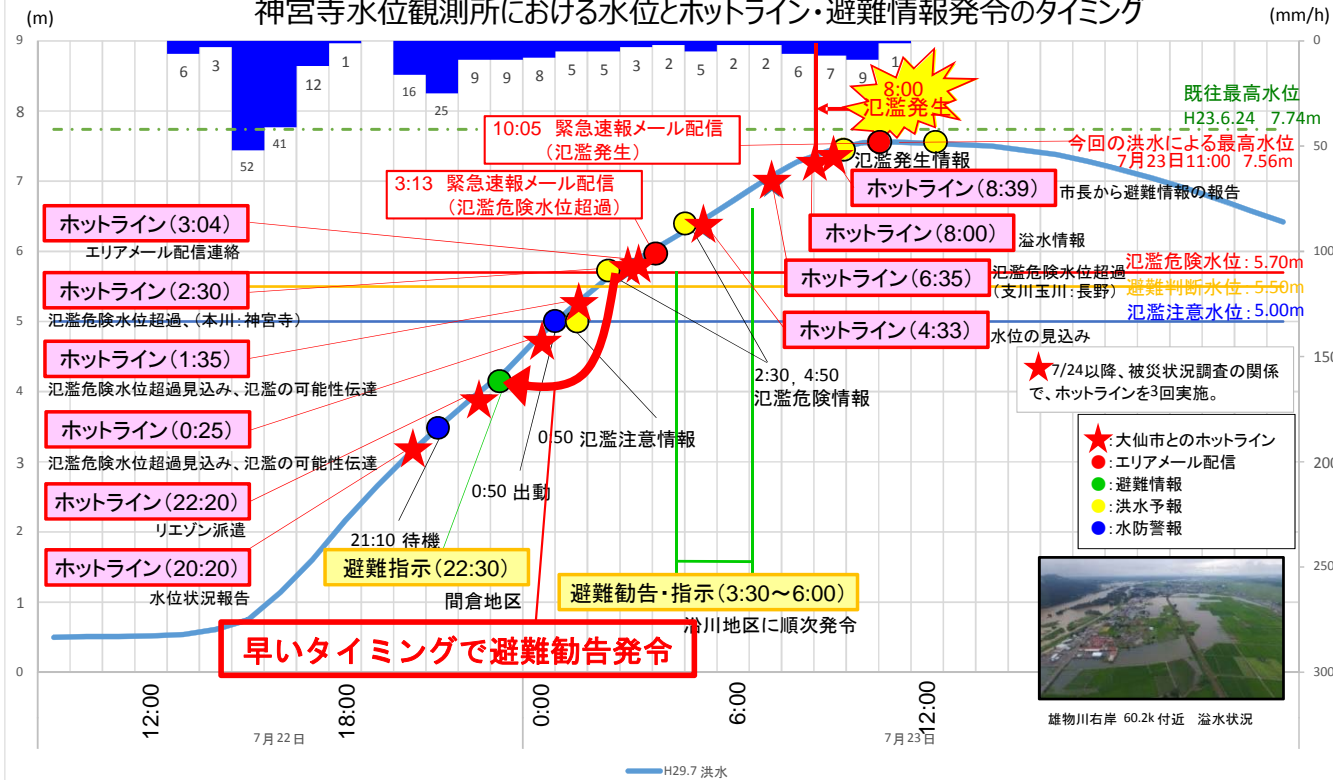
・雄物川(国管理区間)では、河川事務所と自治体で作成していた水害対応タイムラインを活用し、河川事務所長等と市長等のホットラインを3市に延べ21回※実施。

※7月22日から24日までに、被害の生じた雄物川水系で事務所長等と市長等との間で実施したもの

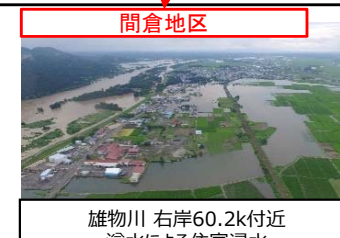
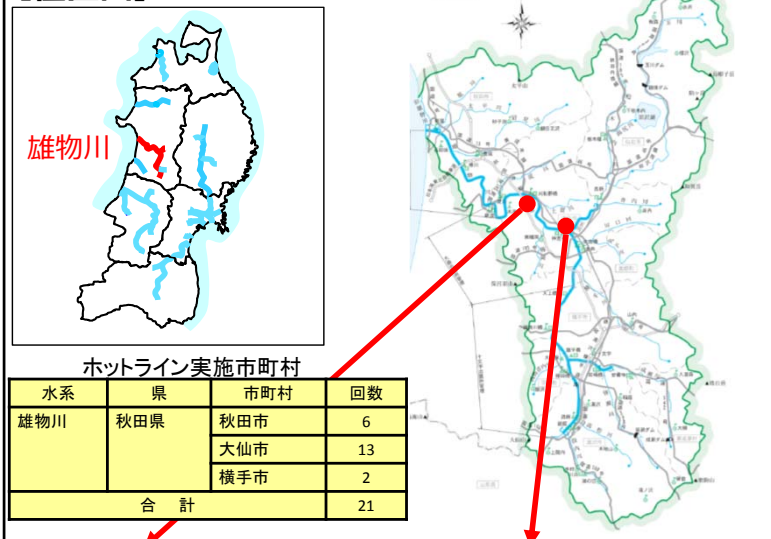
・タイムラインを踏まえた緊密なホットラインにより、湯沢河川国道事務所長から大仙市長に河川の状況等を詳しく伝え、それを受けた市長は、対象地域へ早いタイミングで避難指示を発令し、住民への避難の呼びかけを実施。合わせて国土交通省は、緊急速報メールにより河川情報を住民等に配信。

## 湯沢河川国道事務所から大仙市へのホットラインの例

神宮寺水位観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



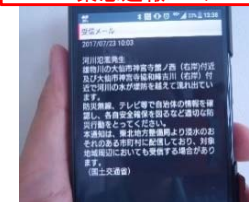
## 【位置図】



## 大仙市長のコメント

・7月洪水では、事務所長からホットラインの度重なる情報提供がなされ、それを踏まえて、適時の避難情報発令を行えた。

## 緊急速報メール



## <被害状況>

浸水面積 32.0km<sup>2</sup>  
浸水家屋 1,028戸

## <避難情報発令状況>

避難勧告 8,051世帯 21,584人  
避難指示 8,486世帯 22,799人

※被害状況、避難情報発令状況は雄物川全体数値であり、速報値であるため今後変わる可能性があります。

# TEC-FORCE等の主な活動状況

8/2  
9:00時点

- ・東北地方整備局をはじめ、北海道開発局、関東地方整備局から派遣されたTEC-FORCE(7/23～8/1のべ276人・日)が河川・道路の被害状況調査、緊急排水活動など、1県5市において活動。
- ・秋田県秋田市、大仙市、横手市、由利本荘市、北秋田市の河川、道路等でドローン、ヘリ等を活用して被害状況調査を行い、災害復旧に向けたとりまとめを支援。秋田市(7/28)、大仙市(7/28)、横手市(7/26)、由利本荘市(7/26)、北秋田市(7/24)に調査結果を報告。
- ・災害復旧事業の早期着手に向け、本省災害査定官を現地に派遣し、復旧方針、工法等の技術的支援を実施。

## 【TEC-FORCEの活動状況】



河川護岸の被害状況調査 (7月26日)



大仙市と合同で聞取調査 (7月26日)



市道南外12号線の被害状況調査 (7月25日)



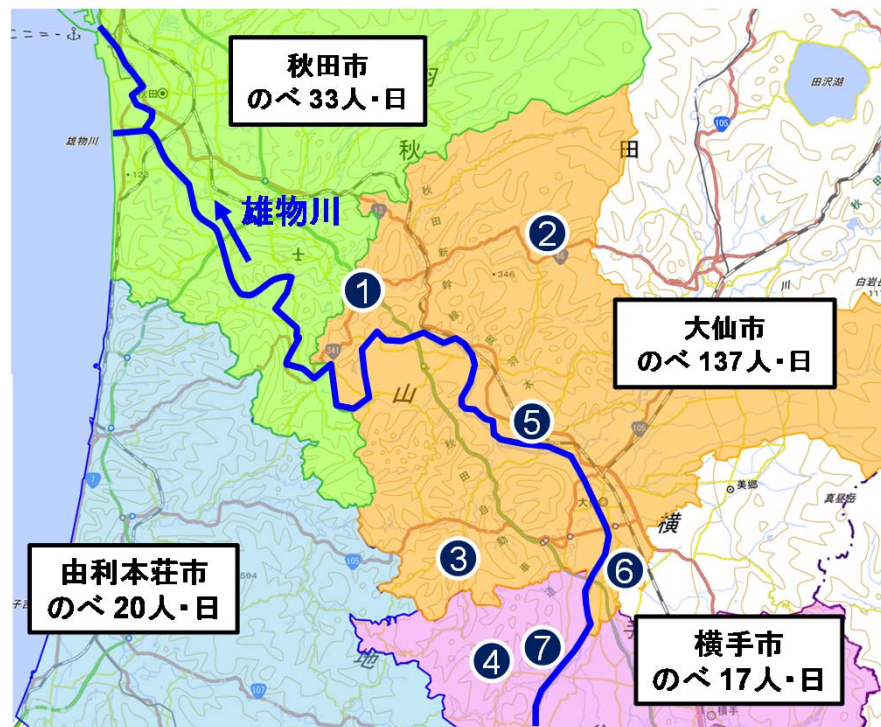
ドローンによる被害状況調査 (7月26日)



本省災害査定官による技術指導 (8月2日)



大仙市長に調査結果を報告 (7月26日)



24時間体制での緊急排水活動 (7月23日)



市道の路面清掃状況 (7月26日)